

令和 3 年度

佐賀市一般会計・特別会計歳入歳出決算  
及び基金運用状況審査意見書

佐賀市監査委員

## 凡 例

- 1 表中の単位未満は、四捨五入することを原則としているので、内訳の計と総数が一致しない場合がある。  
文中の金額は、原則として万円単位で表示し、単位未満は切り捨てている。
- 2 文中で用いる「ポイント」は、前年度の％及び指数との比較を示したものである。
- 3 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。
  - 「0.0」 … 0 又は該当数値はあるが、単位未満のもの
  - 「－」 … 該当数値のないもの
  - 「△」 … マイナス
  - 「皆増」 … 前年度、0 又は該当数値がなく比率が出せないもの
  - 「皆減」 … 当年度、0 又は該当数値がなく比率が出せないもの

佐 市 監 査 第 201 号  
令 和 4 年 8 月 25 日

佐賀市長 坂 井 英 隆 様

佐賀市監査委員 力 久 剛

佐賀市監査委員 千 綿 正 明

令和 3 年度佐賀市歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項及び第 241 条第 5 項の規定に基づき、令和 4 年 7 月 1 日付け佐市財第 81 号で審査に付された令和 3 年度佐賀市歳入歳出決算並びに佐賀市土地開発基金及び佐賀市国民健康保険高額療養費貸付基金の運用状況について審査した結果、次のとおり意見を提出します。

## 目 次

### 令和 3 年度佐賀市歳入歳出決算審査意見

|     |              |    |
|-----|--------------|----|
| 第 1 | 審査の対象        | 1  |
| 第 2 | 審査の期間        | 1  |
| 第 3 | 審査の方法        | 1  |
| 第 4 | 審査の結果        | 1  |
| 第 5 | 審査の状況        | 2  |
| 1   | 決算の状況（総括）    | 2  |
| 2   | 一般会計         | 6  |
|     | （1）歳入概要      | 6  |
|     | （2）歳出概要      | 19 |
| 3   | 特別会計         | 33 |
|     | （1）国民健康保険    | 33 |
|     | （2）国民健康保険診療所 | 36 |
|     | （3）後期高齢者医療   | 37 |
| 4   | 財産           | 38 |
|     | （1）公有財産      | 38 |
|     | （2）物品（重要備品）  | 40 |
|     | （3）債権        | 41 |
|     | （4）基金        | 42 |
| 5   | むすび          | 44 |

### 令和 3 年度佐賀市土地開発基金運用状況審査意見

|     |       |    |
|-----|-------|----|
| 第 1 | 審査の結果 | 49 |
| 第 2 | 運用の状況 | 49 |

### 令和 3 年度佐賀市国民健康保険高額療養費貸付基金運用状況審査意見

|     |       |    |
|-----|-------|----|
| 第 1 | 審査の結果 | 50 |
| 第 2 | 運用の状況 | 50 |

|      |    |
|------|----|
| 参考資料 | 51 |
|------|----|

## 令和 3 年度佐賀市歳入歳出決算審査意見

### 第 1 審査の対象

#### 1 一般会計

令和 3 年度 佐賀市一般会計歳入歳出決算

#### 2 特別会計

令和 3 年度 佐賀市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

令和 3 年度 佐賀市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算

令和 3 年度 佐賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

#### 3 決算附属書類

令和 3 年度 佐賀市歳入歳出決算事項別明細書

令和 3 年度 実質収支に関する調書

令和 3 年度 財産に関する調書

### 第 2 審査の期間

令和 4 年 7 月 1 日から令和 4 年 7 月 22 日まで

### 第 3 審査の方法

令和 3 年度佐賀市一般会計及び特別会計の決算審査に当たっては、その計数は正確であるか、歳入は予定されたとおり収入されているか、歳出は予算議決の趣旨に沿って執行されているか、経理事務は関係法令等に従い適正に処理されているか、財産の管理・運用及び取得・処分は適切に処理されているかという点について、関係諸帳簿及び証拠書類を照合し、関係者に説明を求めるとともに、定期監査及び例月出納検査の結果も考慮して審査を行った。

また、基金についても、計数が関係部局の所管する証書類と符合するかを確認し、その設置目的に沿って適正かつ効率的に運用されているか審査を行った。

### 第 4 審査の結果

審査の結果、令和 3 年度一般会計及び特別会計の決算は、その計数に誤りはなく、予算の執行については、歳入の確保と効率的な経費の支出に配慮しながら各施策が展開され、これに伴う事務事業も予算の趣旨に沿って執行されたものと認められた。また、予算の経理等、財務に関する事務の執行及び財産の管理、基金の運用についても、適正に処理されているものと認められた。

## 第5 審査の状況

### 1 決算の状況（総括）

#### 一般・特別会計歳入歳出決算額

（単位：千円、％）

| 区 分                    |    | 令和3年度       | 令和2年度       | 増減額          | 増減率     |
|------------------------|----|-------------|-------------|--------------|---------|
| 予算現額                   | 一般 | 124,789,684 | 140,614,923 | △ 15,825,239 | △ 11.3  |
|                        | 特別 | 30,487,682  | 30,497,443  | △ 9,761      | 0.0     |
|                        | 計  | 155,277,366 | 171,112,366 | △ 15,835,000 | △ 9.3   |
| 歳入決算額                  | 一般 | 118,726,315 | 133,968,677 | △ 15,242,362 | △ 11.4  |
|                        | 特別 | 30,326,754  | 30,005,742  | 321,012      | 1.1     |
|                        | 計  | 149,053,069 | 163,974,419 | △ 14,921,350 | △ 9.1   |
| 歳出決算額                  | 一般 | 114,767,430 | 130,950,713 | △ 16,183,283 | △ 12.4  |
|                        | 特別 | 29,932,970  | 29,639,558  | 293,412      | 1.0     |
|                        | 計  | 144,700,400 | 160,590,271 | △ 15,889,871 | △ 9.9   |
| 形式収支額（B－C）             | 一般 | 3,958,885   | 3,017,964   | 940,921      | 31.2    |
|                        | 特別 | 393,784     | 366,184     | 27,600       | 7.5     |
|                        | 計  | 4,352,669   | 3,384,148   | 968,521      | 28.6    |
| 同上中翌年度へ繰り越すべき財源        | 一般 | 818,926     | 1,473,846   | △ 654,920    | △ 44.4  |
|                        | 特別 | 0           | 1           | △ 1          | 皆減      |
|                        | 計  | 818,926     | 1,473,847   | △ 654,921    | △ 44.4  |
| 実質収支額（D－E）             | 一般 | 3,139,959   | 1,544,118   | 1,595,841    | 103.3   |
|                        | 特別 | 393,784     | 366,184     | 27,601       | 7.5     |
|                        | 計  | 3,533,743   | 1,910,302   | 1,623,442    | 85.0    |
| 単年度収支額<br>（F－前年度実質収支額） | 一般 | 1,595,841   | 271,897     | 1,323,944    | 486.9   |
|                        | 特別 | 27,601      | 120,660     | △ 93,059     | △ 77.1  |
|                        | 計  | 1,623,442   | 392,557     | 1,230,885    | 313.6   |
| 財政調整基金積立金              | 一般 | 1,612,215   | 657,107     | 955,108      | 145.4   |
|                        | 特別 | 0           | 0           | 0            | －       |
|                        | 計  | 1,612,215   | 657,107     | 955,108      | 145.4   |
| 地方債繰上償還金               | 一般 | 0           | 0           | 0            | －       |
|                        | 特別 | 0           | 0           | 0            | －       |
|                        | 計  | 0           | 0           | 0            | －       |
| 財政調整基金取崩額              | 一般 | 0           | 1,089,297   | △ 1,089,297  | △ 100.0 |
|                        | 特別 | 0           | 0           | 0            | －       |
|                        | 計  | 0           | 1,089,297   | △ 1,089,297  | △ 100.0 |
| 実質単年度収支額（G+H+I-J）      | 一般 | 3,208,056   | △ 160,293   | 3,368,349    | 2,101.4 |
|                        | 特別 | 27,601      | 120,660     | △ 93,059     | △ 77.1  |
|                        | 計  | 3,235,657   | △ 39,633    | 3,275,290    | 8,263.9 |

## 会計別一覧

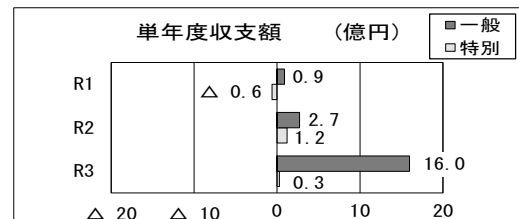
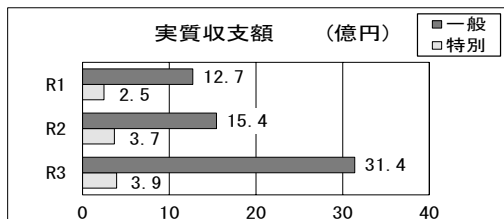
(単位：千円)

| 会計名       | 予算現額        | 歳入決算額       | 歳出決算額       | 形式収支額     | 実質収支額     | 単年度収支額    |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 一般会計      | 124,789,684 | 118,726,315 | 114,767,430 | 3,958,885 | 3,139,959 | 1,595,841 |
| 特別会計      | 30,487,682  | 30,326,754  | 29,932,970  | 393,784   | 393,784   | 27,601    |
| 国民健康保険    | 26,872,588  | 26,713,557  | 26,402,039  | 311,518   | 311,518   | 23,197    |
| 国民健康保険診療所 | 110,219     | 99,123      | 99,123      | 0         | 0         | 0         |
| 後期高齢者医療   | 3,504,875   | 3,514,074   | 3,431,808   | 82,266    | 82,266    | 4,404     |
| 合 計       | 155,277,366 | 149,053,069 | 144,700,400 | 4,352,669 | 3,533,743 | 1,623,442 |

当年度の一般会計と特別会計を合わせた予算現額は1,552億7,736万円で、前年度に比べ158億3,500万円(9.3%)減少している。

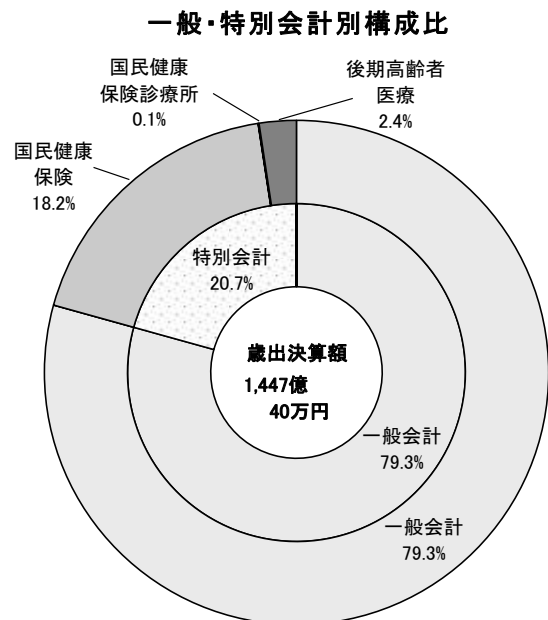
一般会計の形式収支額は39億5,888万円で、翌年度へ繰り越すべき財源8億1,892万円を差し引くと、実質収支額は31億3,995万円となる。さらに、これから前年度実質収支額15億4,411万円を差し引いた単年度収支額は、15億9,584万円の黒字となっている。実質単年度収支額は、32億805万円の黒字であった。

また、特別会計では形式収支額及び実質収支額ともに3億9,378万円の黒字で、単年度収支額は2,760万円の黒字となっている。



一般会計の実質収支比率※1は5.6%となり、前年度に比べ2.7ポイント増加した。これは、前年度に比べ分母の標準財政規模※2が増加したが、その増加以上に分子の実質収支額の増加率が高かったためである。実質収支額増加の主な要因は、普通交付税における臨時財政対策債償還基金費等の追加交付や地方消費税交付金の増加により歳入が増加したためである。

会計別の歳出決算額における構成比は右図のとおりで、本市においては、一般会計が全体の79.3%、国民健康保険特別会計が18.2%を占めている。



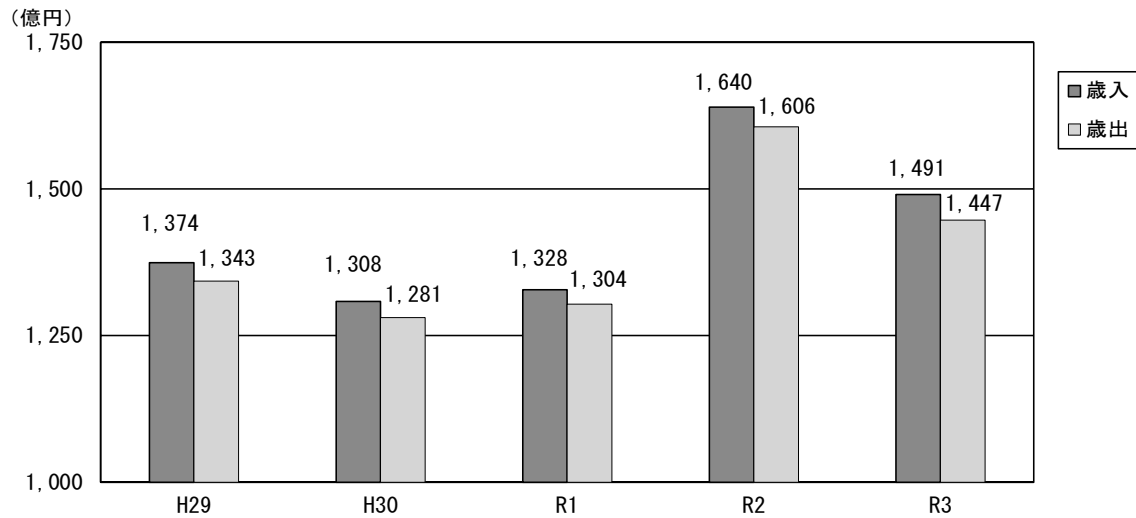
※1 実質収支比率：標準財政規模に対する実質収支額の割合を示す指標

【計算式】実質収支比率＝実質収支額÷標準財政規模×100

※2 標準財政規模：地方公共団体の標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模を示す指標で、標準税収入額等に普通交付税及び臨時財政対策債発行可能額を加算した額  
令和3年度：562億9,997万円、令和2年度：540億4,176万円

## 決算の推移

一般会計と特別会計の総計決算額の推移である。



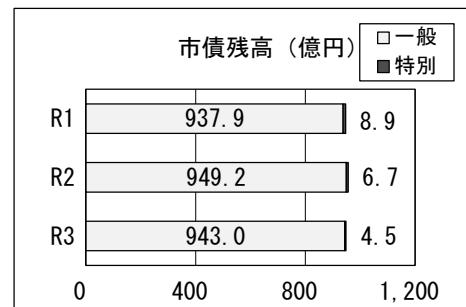
## 市債の状況

(単位：千円)

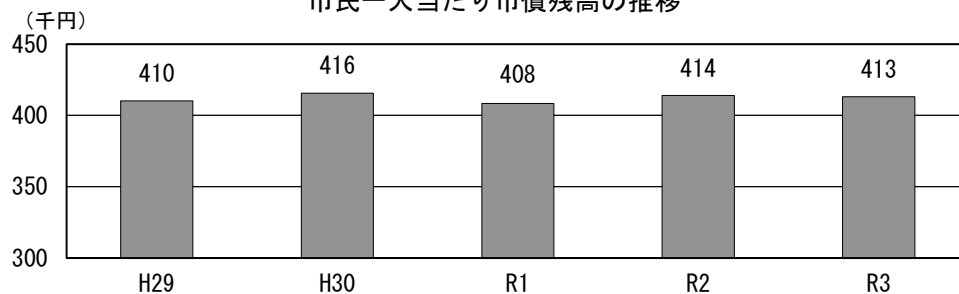
| 区 分       | 令和2年度末残高   | 令和3年度発行額  | 令和3年度償還額  | 令和3年度末残高   |
|-----------|------------|-----------|-----------|------------|
| 一般会計      | 94,920,788 | 8,569,638 | 9,187,763 | 94,302,663 |
| 特別会計      | 674,033    | 1,500     | 222,080   | 453,453    |
| 国民健康保険    | 660,000    | 0         | 220,000   | 440,000    |
| 国民健康保険診療所 | 14,033     | 1,500     | 2,080     | 13,453     |
| 合 計       | 95,594,821 | 8,571,138 | 9,409,843 | 94,756,116 |

当年度の一般会計と特別会計を合わせた市債残高は947億5,611万円で、前年度に比べ8億3,870万円(0.9%)減少している。

なお、年度別の市民一人当たりの市債残高の推移は次のとおりである。



## 市民一人当たり市債残高の推移



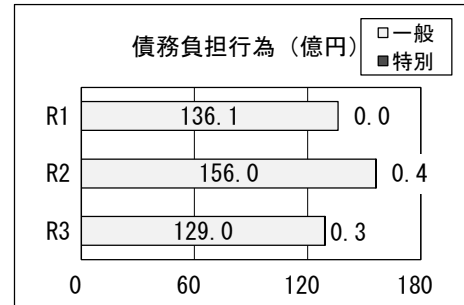
債務負担行為による翌年度以降の支出予定額の状況

(単位：千円、%)

| 区 分  | 令和3年度末     | 令和2年度末     | 比較増減        |        |
|------|------------|------------|-------------|--------|
|      |            |            | 増減額         | 増減率    |
| 一般会計 | 12,897,019 | 15,597,917 | △ 2,700,898 | △ 17.3 |
| 特別会計 | 34,146     | 39,393     | △ 5,247     | △ 13.3 |
| 合 計  | 12,931,165 | 15,637,310 | △ 2,706,145 | △ 17.3 |

当年度末時点の翌年度以降の支出予定額は、一般会計が 128 億 9,701 万円で、前年度末に比べ 27 億 89 万円（17.3%）減少している。

債務負担行為のうち、当年度新規分の翌年度以降の支出予定額は一般会計の 32 億 1,318 万円で、主なものとして、文化会館西側広場等整備事業 3 億 9,438 万円、学校給食調理等業務委託料 3 億 6,355 万円及び教職員用情報機器借上料 3 億 5,344 万円などが挙げられる。



## 2 一般会計

### (1) 歳入概要

#### 一般会計歳入決算額

(単位：円、%)

| 区 分           |         | 令和3年度           | 令和2年度           | 比較増減             |        |
|---------------|---------|-----------------|-----------------|------------------|--------|
|               |         |                 |                 | 増減額              | 増減率    |
| 予算現額          | A       | 124,789,684,325 | 140,614,923,067 | △ 15,825,238,742 | △ 11.3 |
| 調定額           | B       | 125,296,055,559 | 141,191,346,216 | △ 15,895,290,657 | △ 11.3 |
| 収入済額          | C       | 118,726,315,545 | 133,968,676,546 | △ 15,242,361,001 | △ 11.4 |
| 不納欠損額         | D       | 26,473,906      | 128,496,546     | △ 102,022,640    | △ 79.4 |
| 収入未済額         | (B-C-D) | 6,543,266,108   | 7,094,173,124   | △ 550,907,016    | △ 7.8  |
| 予算現額と収入済額との比較 | (C-A)   | △ 6,063,368,780 | △ 6,646,246,521 | —                | —      |
| 予算現額に対する収入率   | (C/A)   | 95.1            | 95.3            | —                | —      |
| 調定額に対する収入率    | (C/B)   | 94.8            | 94.9            | —                | —      |

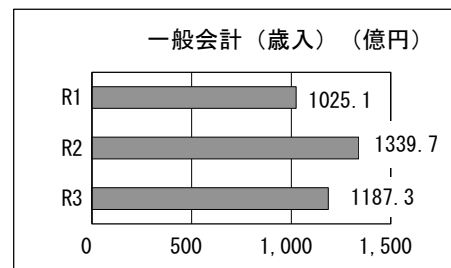
一般会計歳入においては、予算現額、調定額、収入済額ともに前年度を下回っている。収入済額は、前年度に比べ152億4,236万円(11.4%)減少している。この要因は主に、新型コロナウイルス感染症にかかる国庫支出金が大きく減少したためである。

収入済額が前年度を下回った主な要因は、地方交付税20億8,318万円、財産収入13億6,921万円及び繰越金8億2,588万円が増加したが、国庫支出金172億2,443万円、繰入金17億7,692万円及び市債14億4,937万円が減少したためである。

また、不納欠損額は2,647万円で、前年度に比べ1億202万円(79.4%)減少している。

収入未済額については、前年度に比べ5億5,090万円(7.8%)減少している。収入未済額の主なものとしては、国庫支出金24億9,195万円、市債21億3,022万円及び県支出金12億1,668万円などがあるが、主に事業が翌年度に繰り越されたため、翌年度の事業完了をもって収入となる。

なお、不納欠損額及び収入未済額の内訳については、歳入の最終頁に記載している。



一般会計款別歳入状況

(単位：円、％)

| 区 分                | 令和3年度           |       | 令和2年度           |       | 比較増減             |        |
|--------------------|-----------------|-------|-----------------|-------|------------------|--------|
|                    | 収入済額            | 構成比   | 収入済額            | 構成比   | 増減額              | 増減率    |
| <b>1 市税</b>        | 31,073,231,366  | 26.2  | 30,767,455,172  | 23.0  | 305,776,194      | 1.0    |
| 2 地方譲与税            | 752,588,001     | 0.6   | 732,627,001     | 0.5   | 19,961,000       | 2.7    |
| 3 利子割交付金           | 25,204,000      | 0.0   | 29,618,000      | 0.0   | △ 4,414,000      | △ 14.9 |
| 4 配当割交付金           | 130,422,000     | 0.1   | 76,277,000      | 0.1   | 54,145,000       | 71.0   |
| 5 株式等譲渡所得割交付金      | 133,199,000     | 0.1   | 86,809,000      | 0.1   | 46,390,000       | 53.4   |
| 6 法人事業税交付金         | 528,251,000     | 0.4   | 280,881,000     | 0.2   | 247,370,000      | 88.1   |
| 7 地方消費税交付金         | 5,638,475,000   | 4.7   | 5,182,563,000   | 3.9   | 455,912,000      | 8.8    |
| 8 ゴルフ場利用税交付金       | 36,963,850      | 0.0   | 32,349,450      | 0.0   | 4,614,400        | 14.3   |
| 9 環境性能割交付金         | 43,927,000      | 0.0   | 43,381,738      | 0.0   | 545,262          | 1.3    |
| 10 地方特例交付金         | 576,104,000     | 0.5   | 236,996,000     | 0.2   | 339,108,000      | 143.1  |
| 11 地方交付税           | 19,174,719,000  | 16.2  | 17,091,538,000  | 12.8  | 2,083,181,000    | 12.2   |
| 12 交通安全対策特別交付金     | 58,537,000      | 0.0   | 62,290,000      | 0.0   | △ 3,753,000      | △ 6.0  |
| <b>13 分担金及び負担金</b> | 474,349,502     | 0.4   | 483,642,844     | 0.4   | △ 9,293,342      | △ 1.9  |
| <b>14 使用料及び手数料</b> | 1,811,710,265   | 1.5   | 1,671,035,879   | 1.2   | 140,674,386      | 8.4    |
| 15 国庫支出金           | 28,458,628,752  | 24.0  | 45,683,067,314  | 34.1  | △ 17,224,438,562 | △ 37.7 |
| 16 県支出金            | 10,789,535,200  | 9.1   | 11,171,021,541  | 8.3   | △ 381,486,341    | △ 3.4  |
| <b>17 財産収入</b>     | 1,589,497,487   | 1.3   | 220,281,582     | 0.2   | 1,369,215,905    | 621.6  |
| <b>18 寄附金</b>      | 1,537,276,056   | 1.3   | 1,629,384,877   | 1.2   | △ 92,108,821     | △ 5.7  |
| <b>19 繰入金</b>      | 1,588,258,340   | 1.3   | 3,365,183,168   | 2.5   | △ 1,776,924,828  | △ 52.8 |
| <b>20 繰越金</b>      | 3,017,963,723   | 2.5   | 2,192,083,637   | 1.6   | 825,880,086      | 37.7   |
| <b>21 諸収入</b>      | 2,717,837,003   | 2.3   | 2,911,182,343   | 2.2   | △ 193,345,340    | △ 6.6  |
| 22 市債              | 8,569,638,000   | 7.2   | 10,019,008,000  | 7.5   | △ 1,449,370,000  | △ 14.5 |
| 合 計                | 118,726,315,545 | 100.0 | 133,968,676,546 | 100.0 | △ 15,242,361,001 | △ 11.4 |

※「区分」名がゴシック体のものは自主財源

款別の歳入額のうち、前年度と比較して増加額が大きなものは、地方交付税 20 億 8,318 万円（12.2％）、財産収入 13 億 6,921 万円（621.6％）及び繰越金 8 億 2,588 万円（37.7％）などである。減少額が大きなものは、国庫支出金 172 億 2,443 万円（37.7％）、繰入金 17 億 7,692 万円（52.8％）及び市債 14 億 4,937 万円（14.5％）などである。

収入済額で款別構成比が高いものは、市税 310 億 7,323 万円（26.2％）、国庫支出金 284 億 5,862 万円（24.0％）、地方交付税 191 億 7,471 万円（16.2％）、県支出金 107 億 8,953 万円（9.1％）及び市債 85 億 6,963 万円（7.2％）が挙げられ、これらで歳入総額の 82.7％を占めている。

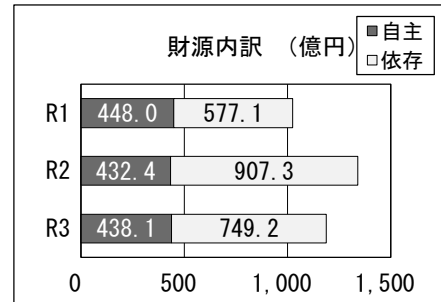
## 自主財源・依存財源

(単位：円、%)

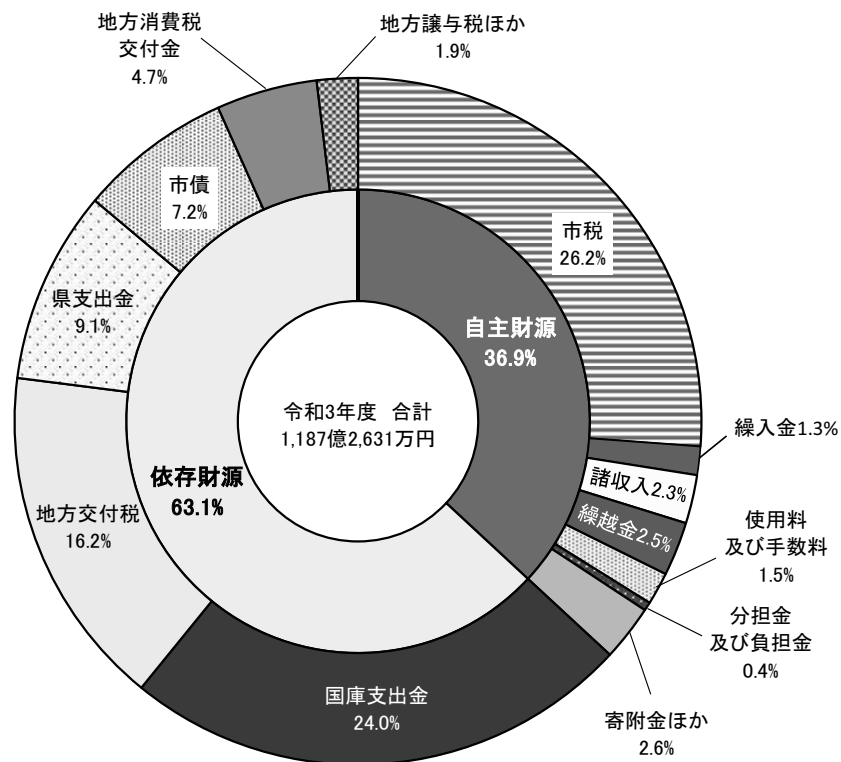
| 区 分  | 令和3年度           |       | 令和2年度           |       | 比較増減             |        |
|------|-----------------|-------|-----------------|-------|------------------|--------|
|      | 収入済額            | 構成比   | 収入済額            | 構成比   | 増減額              | 増減率    |
| 自主財源 | 43,810,123,742  | 36.9  | 43,240,249,502  | 32.3  | 569,874,240      | 1.3    |
| 依存財源 | 74,916,191,803  | 63.1  | 90,728,427,044  | 67.7  | △ 15,812,235,241 | △ 17.4 |
| 合 計  | 118,726,315,545 | 100.0 | 133,968,676,546 | 100.0 | △ 15,242,361,001 | △ 11.4 |

収入済額を、自主財源と依存財源に区分したものが上表である。

当年度の自主財源比率は 36.9%で、前年度に対し 4.6 ポイント増加している。この主な要因は、総務管理費国庫補助金や商工費国庫補助金をはじめ国庫支出金等の依存財源が、約 158 億円減少したためである。



## 一般会計歳入財源別構成比



- ・ 自主財源：市が自主的に調達できる財源  
市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入
- ・ 依存財源：国等の意思決定に基づく財源  
地方譲与税、地方消費税交付金、地方交付税、国庫支出金、県支出金、市債等

## 第1款 市税

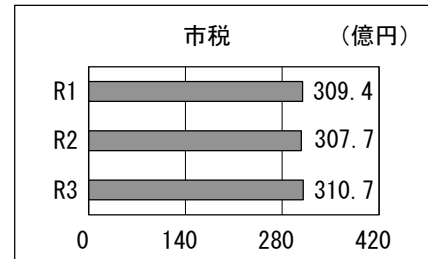
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額           | 調定額            | 収入済額           | 不納欠損額      | 収入未済額         |
|-------|----------------|----------------|----------------|------------|---------------|
| 令和3年度 | 30,297,743,000 | 31,414,806,537 | 31,073,231,366 | 13,295,380 | 328,279,791   |
| 令和2年度 | 30,662,894,000 | 31,312,894,328 | 30,767,455,172 | 11,536,528 | 533,902,628   |
| 比較増減  | △ 365,151,000  | 101,912,209    | 305,776,194    | 1,758,852  | △ 205,622,837 |

収入済額は、前年度に比べ3億577万円(1.0%)増加している。この要因は主に、市民税3億4,100万円が増加したためである。

不納欠損額は1,329万円で、前年度に比べ175万円(15.2%)増加している。

また、収入未済額は、前年度に比べ2億562万円(38.5%)減少している。この要因は主に、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う徴収猶予の特例が終了し、徴収猶予された税額が納付されたためとみられる。



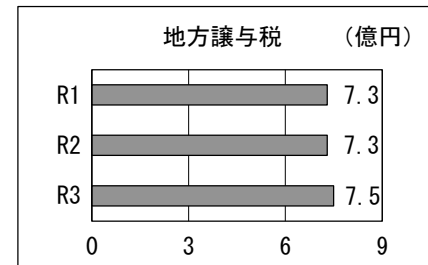
## 第2款 地方譲与税

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 747,000,000 | 752,588,001 | 752,588,001 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 733,000,000 | 732,627,001 | 732,627,001 | 0     | 0     |
| 比較増減  | 14,000,000  | 19,961,000  | 19,961,000  | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ1,996万円(2.7%)増加している。

地方譲与税の主なものは、自動車重量譲与税5億1,162万円及び地方揮発油譲与税1億7,894万円である。

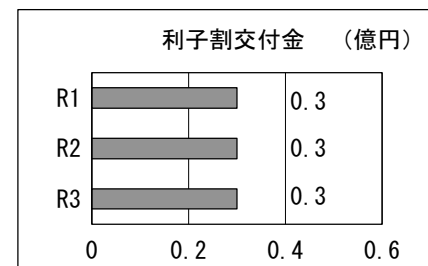


## 第3款 利子割交付金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額       | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|------------|-------------|-------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 30,000,000 | 25,204,000  | 25,204,000  | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 29,100,000 | 29,618,000  | 29,618,000  | 0     | 0     |
| 比較増減  | 900,000    | △ 4,414,000 | △ 4,414,000 | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ441万円(14.9%)減少している。

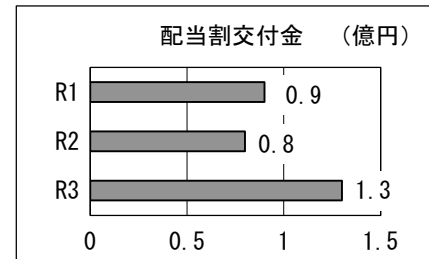


#### 第4款 配当割交付金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 85,000,000  | 130,422,000 | 130,422,000 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 87,000,000  | 76,277,000  | 76,277,000  | 0     | 0     |
| 比較増減  | △ 2,000,000 | 54,145,000  | 54,145,000  | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ 5,414 万円 (71.0%) 増加している。

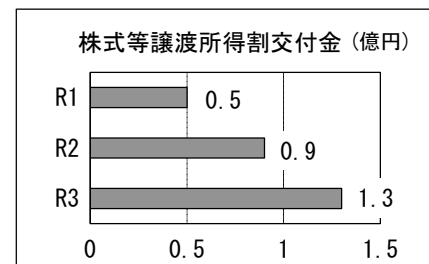


#### 第5款 株式等譲渡所得割交付金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 96,000,000  | 133,199,000 | 133,199,000 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 104,000,000 | 86,809,000  | 86,809,000  | 0     | 0     |
| 比較増減  | △ 8,000,000 | 46,390,000  | 46,390,000  | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ 4,639 万円 (53.4%) 増加している。



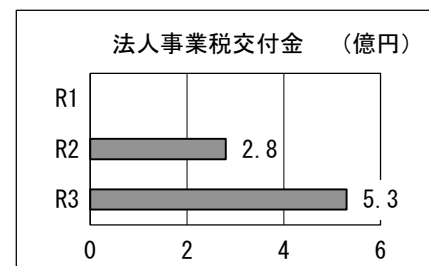
#### 第6款 法人事業税交付金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 489,000,000 | 528,251,000 | 528,251,000 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 285,000,000 | 280,881,000 | 280,881,000 | 0     | 0     |
| 比較増減  | 204,000,000 | 247,370,000 | 247,370,000 | 0     | 0     |

法人事業税交付金は、法人事業税の一部を財源として、県が市町の従業者数に応じて令和2年度から交付しているものだが、令和4年度までは経過措置があるため、令和3年度は2/3を法人税割額に応じて、1/3を従業者数に応じての交付となっている。

収入済額は、前年度に比べ 2 億 4,737 万円 (88.1%) 増加している。

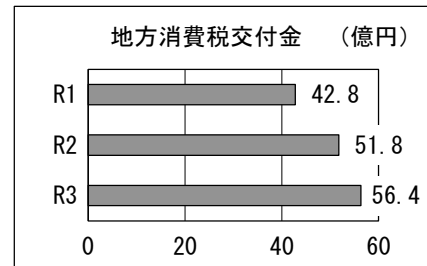


## 第7款 地方消費税交付金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|---------------|---------------|---------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 5,535,000,000 | 5,638,475,000 | 5,638,475,000 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 5,183,000,000 | 5,182,563,000 | 5,182,563,000 | 0     | 0     |
| 比較増減  | 352,000,000   | 455,912,000   | 455,912,000   | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ4億5,591万円(8.8%)増加している。

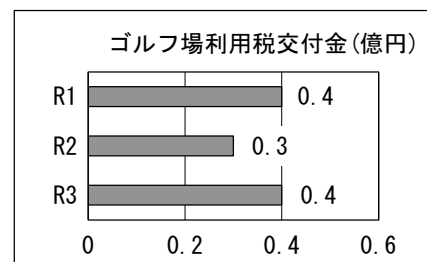


## 第8款 ゴルフ場利用税交付金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額       | 調定額        | 収入済額       | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|------------|------------|------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 35,000,000 | 36,963,850 | 36,963,850 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 33,000,000 | 32,349,450 | 32,349,450 | 0     | 0     |
| 比較増減  | 2,000,000  | 4,614,400  | 4,614,400  | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ461万円(14.3%)増加している。

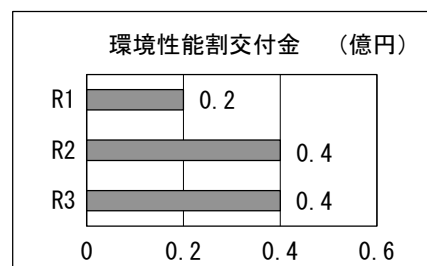


## 第9款 環境性能割交付金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額         | 調定額        | 収入済額       | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|--------------|------------|------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 46,000,000   | 43,927,000 | 43,927,000 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 57,000,000   | 43,381,738 | 43,381,738 | 0     | 0     |
| 比較増減  | △ 11,000,000 | 545,262    | 545,262    | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ54万円(1.3%)増加している。



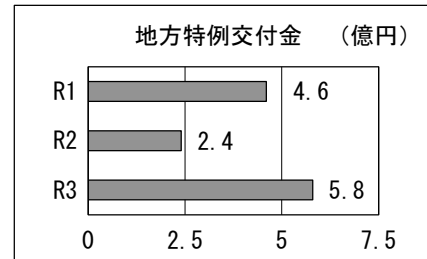
## 第 10 款 地方特例交付金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 575,663,000 | 576,104,000 | 576,104,000 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 236,996,000 | 236,996,000 | 236,996,000 | 0     | 0     |
| 比較増減  | 338,667,000 | 339,108,000 | 339,108,000 | 0     | 0     |

地方特例交付金は、個人市民税の住宅借入金等特別税額控除及び環境性能割の臨時的軽減による減収見込額を補填するために交付されるものである。

収入済額は、前年度に比べ 3 億 3,910 万円 (143.1%) 増加している。この要因は主に、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 3 億 3,440 万円が増加したためである。



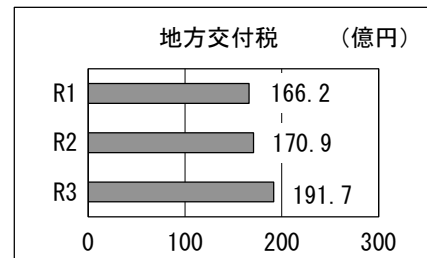
## 第 11 款 地方交付税

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額           | 調定額            | 収入済額           | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 18,923,943,000 | 19,174,719,000 | 19,174,719,000 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 16,985,339,000 | 17,091,538,000 | 17,091,538,000 | 0     | 0     |
| 比較増減  | 1,938,604,000  | 2,083,181,000  | 2,083,181,000  | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ 20 億 8,318 万円 (12.2%) 増加している。この要因は主に、普通交付税における臨時財政対策債償還基金費等の追加交付があったためである。

地方交付税の内訳は、普通交付税 173 億 2,394 万円及び特別交付税 18 億 5,077 万円である。

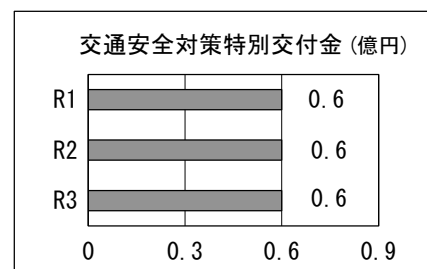


## 第 12 款 交通安全対策特別交付金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額       | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|------------|-------------|-------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 70,000,000 | 58,537,000  | 58,537,000  | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 70,000,000 | 62,290,000  | 62,290,000  | 0     | 0     |
| 比較増減  | 0          | △ 3,753,000 | △ 3,753,000 | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ 375 万円 (6.0%) 減少している。



### 第 1 3 款 分担金及び負担金

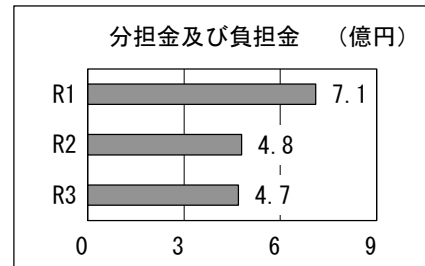
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        | 不納欠損額     | 収入未済額      |
|-------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|
| 令和3年度 | 554,706,875 | 522,303,962 | 474,349,502 | 642,100   | 47,312,360 |
| 令和2年度 | 561,977,811 | 525,586,669 | 483,642,844 | 1,352,400 | 40,591,425 |
| 比較増減  | △ 7,270,936 | △ 3,282,707 | △ 9,293,342 | △ 710,300 | 6,720,935  |

収入済額は、前年度に比べ 929 万円（1.9％）減少している。

不納欠損額は、児童福祉費負担金 64 万円である。

収入未済額は、前年度に比べ 672 万円（16.6％）増加している。収入未済額の主なものは、児童福祉費負担金 2,194 万円である。



### 第 1 4 款 使用料及び手数料

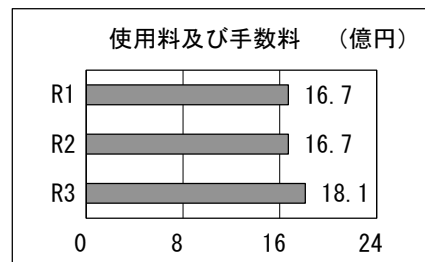
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 不納欠損額       | 収入未済額       |
|-------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|
| 令和3年度 | 1,896,335,000 | 1,871,558,218 | 1,811,710,265 | 5,294,383   | 54,553,570  |
| 令和2年度 | 1,774,222,000 | 1,741,521,391 | 1,671,035,879 | 8,328,529   | 62,156,983  |
| 比較増減  | 122,113,000   | 130,036,827   | 140,674,386   | △ 3,034,146 | △ 7,603,413 |

収入済額は、前年度に比べ 1 億 4,067 万円（8.4％）増加している。この要因は主に、搬入ごみ処理手数料 1 億 3,245 万円が増加したためである。

不納欠損額 529 万円の主なものは、住宅使用料 528 万円である。

収入未済額は、前年度に比べ 760 万円（12.2％）減少している。収入未済額の主なものは、住宅使用料 4,858 万円である。

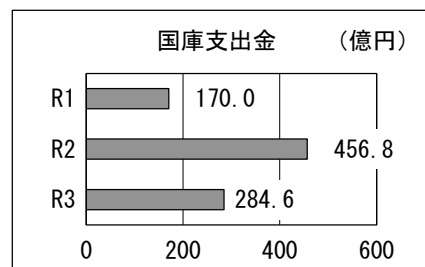


### 第 1 5 款 国庫支出金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額             | 調定額              | 収入済額             | 不納欠損額 | 収入未済額         |
|-------|------------------|------------------|------------------|-------|---------------|
| 令和3年度 | 31,753,675,186   | 30,950,582,825   | 28,458,628,752   | 0     | 2,491,954,073 |
| 令和2年度 | 47,841,900,030   | 47,896,832,500   | 45,683,067,314   | 0     | 2,213,765,186 |
| 比較増減  | △ 16,088,224,844 | △ 16,946,249,675 | △ 17,224,438,562 | 0     | 278,188,887   |

収入済額は、前年度に比べ 172 億 2,443 万円（37.7％）減少している。この要因は主に、子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金 33 億 5,804 万円、住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業費補助金 20 億 4,362 万円及び新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 10 億 8,169 万円が増加したが、特別定額給付金給付事



業費補助金 231 億 8,290 万円が減少したためである。

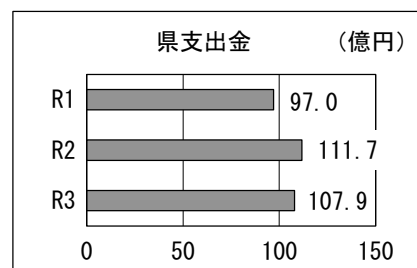
収入未済額は、前年度に比べ 2 億 7,818 万円（12.6％）増加している。収入未済額の主なものは、道路橋りょう費国庫補助金 6 億 304 万円、社会福祉費国庫補助金 4 億 929 万円及び保健衛生費国庫負担金 3 億 5,393 万円で、事業が翌年度に繰り越されたことによるものである。

## 第 16 款 県支出金

（単位：円）

| 区 分   | 予算現額           | 調定額            | 収入済額           | 不納欠損額 | 収入未済額         |
|-------|----------------|----------------|----------------|-------|---------------|
| 令和3年度 | 12,286,358,600 | 12,006,222,144 | 10,789,535,200 | 0     | 1,216,686,944 |
| 令和2年度 | 13,242,727,630 | 12,989,105,141 | 11,171,021,541 | 0     | 1,818,083,600 |
| 比較増減  | △ 956,369,030  | △ 982,882,997  | △ 381,486,341  | 0     | △ 601,396,656 |

収入済額は、前年度に比べ 3 億 8,148 万円（3.4％）減少している。この要因は主に、漁業経営構造改善事業費補助金 5 億 6,213 万円が増加したが、産地パワーアップ事業費補助金 8 億 5,198 万円及び産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 2 億 5,274 万円が減少したためである。



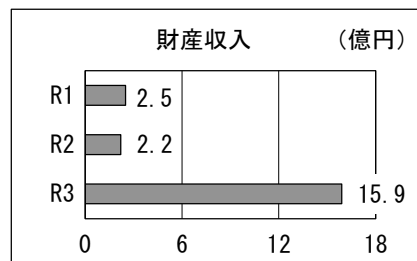
収入未済額は、前年度に比べ 6 億 139 万円（33.1％）減少している。収入未済額の主なものは、農業費県補助金 6 億 3,317 万円、農林水産施設災害復旧費県補助金 2 億 6,416 万円及び河川費県補助金 1 億 905 万円で、事業が翌年度に繰り越されたことによるものである。

## 第 17 款 財産収入

（単位：円）

| 区 分   | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 不納欠損額   | 収入未済額      |
|-------|---------------|---------------|---------------|---------|------------|
| 令和3年度 | 1,585,655,000 | 1,603,790,685 | 1,589,497,487 | 190,000 | 14,103,198 |
| 令和2年度 | 231,832,000   | 233,201,827   | 220,281,582   | 0       | 12,920,245 |
| 比較増減  | 1,353,823,000 | 1,370,588,858 | 1,369,215,905 | 190,000 | 1,182,953  |

収入済額は、前年度に比べ 13 億 6,921 万円（621.6％）増加している。この要因は主に、藻類産業拠点地整備事業用地の売却収入 12 億 5,804 万円など、一時的な土地建物売却収入が発生したためである。



主な財産収入は、土地建物売却収入 14 億 2,585 万円、土地建物貸付収入 1 億 387 万円及び利子及び配当金 3,007 万円である。

不納欠損額 19 万円は、土地建物貸付収入である。

収入未済額は、前年度に比べ 118 万円（9.2％）増加している。収入未済額は、土地建物貸付収入 1,410 万円である。

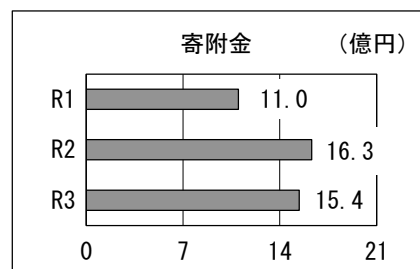
## 第 18 款 寄附金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|---------------|---------------|---------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 1,560,520,000 | 1,537,276,056 | 1,537,276,056 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 1,679,674,000 | 1,629,384,877 | 1,629,384,877 | 0     | 0     |
| 比較増減  | △ 119,154,000 | △ 92,108,821  | △ 92,108,821  | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ 9,210 万円（5.7%）減少している。この要因は主に、ふるさと応援寄附金 1 億 1,496 万円が減少したためである。

収入済額の主なものは、ふるさと応援寄附金 14 億 9,582 万円である。

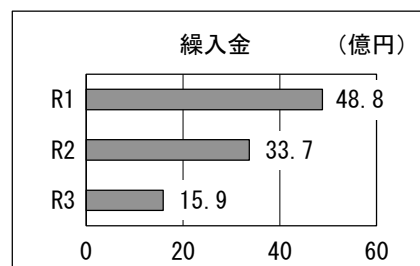


## 第 19 款 繰入金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額            | 調定額             | 収入済額            | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|-----------------|-----------------|-----------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 1,629,921,000   | 1,588,258,340   | 1,588,258,340   | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 3,371,979,000   | 3,365,183,168   | 3,365,183,168   | 0     | 0     |
| 比較増減  | △ 1,742,058,000 | △ 1,776,924,828 | △ 1,776,924,828 | 0     | 0     |

収入済額は、前年度に比べ 17 億 7,692 万円（52.8%）減少している。この要因は主に、財政調整基金繰入金 10 億 8,929 万円が減少したためである。

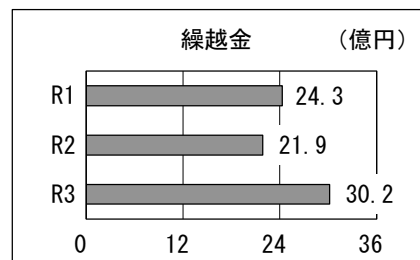


## 第 20 款 繰越金

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|---------------|---------------|---------------|-------|-------|
| 令和3年度 | 3,017,963,664 | 3,017,963,723 | 3,017,963,723 | 0     | 0     |
| 令和2年度 | 2,192,083,938 | 2,192,083,637 | 2,192,083,637 | 0     | 0     |
| 比較増減  | 825,879,726   | 825,880,086   | 825,880,086   | 0     | 0     |

収入済額は、令和 2 年度の形式収支額で、前年度に比べ 8 億 2,588 万円（37.7%）増加している。



## 第 2 1 款 諸収入

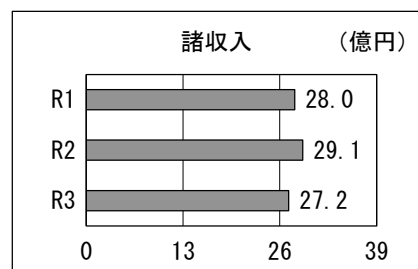
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 不納欠損額         | 収入未済額       |
|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 令和3年度 | 2,690,139,000 | 2,985,042,218 | 2,717,837,003 | 7,052,043     | 260,153,172 |
| 令和2年度 | 2,761,297,658 | 3,282,753,489 | 2,911,182,343 | 107,279,089   | 264,292,057 |
| 比較増減  | △ 71,158,658  | △ 297,711,271 | △ 193,345,340 | △ 100,227,046 | △ 4,138,885 |

収入済額は、前年度に比べ 1 億 9,334 万円 (6.6%) 減少している。

不納欠損額が 705 万円計上されているが、主なものは、生活保護費返還金及び徴収金 573 万円である。

収入未済額は、前年度に比べ 413 万円 (1.6%) 減少している。収入未済額の主なものは、商工費貸付金元利収入 1 億 136 万円である。



## 第 2 2 款 市債

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額            | 調定額             | 収入済額            | 不納欠損額 | 収入未済額         |
|-------|-----------------|-----------------|-----------------|-------|---------------|
| 令和3年度 | 10,884,061,000  | 10,699,861,000  | 8,569,638,000   | 0     | 2,130,223,000 |
| 令和2年度 | 12,490,900,000  | 12,167,469,000  | 10,019,008,000  | 0     | 2,148,461,000 |
| 比較増減  | △ 1,606,839,000 | △ 1,467,608,000 | △ 1,449,370,000 | 0     | △ 18,238,000  |

収入済額は、前年度に比べ 14 億 4,937 万円 (14.5%) 減少している。事業債別では、合併特例事業債 17 億 1,890 万円の減少が挙げられる。

収入未済額は、前年度に比べ 1,823 万円 (0.8%) 減少している。収入未済額の主なものは、川副支所庁舎整備事業等の総務管理債 5 億 8,280 万円、道路整備事業等の道路橋りょう債 4 億 4,160 万円、スポーツ施設整備事業等の保健体育債 2 億 6,670 万円及び諸富中学校屋内運動場改築事業等の中学校債 2 億 4,830 万円、事業が翌年度に繰り越されたことによるものである。

なお、年度別歳入決算額に占める市債収入額の割合は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

| 区 分       | 平成29年度                 | 平成30年度                   | 令和元年度                   | 令和2年度                   | 令和3年度                     |
|-----------|------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 市債収入額 (A) | 9.8<br>11,973,100,000  | △ 19.6<br>9,625,400,000  | △ 11.1<br>8,555,600,000 | 17.1<br>10,019,008,000  | △ 14.5<br>8,569,638,000   |
| 歳入決算額 (B) | 3.2<br>102,067,266,364 | △ 1.7<br>100,361,833,792 | 2.1<br>102,511,074,985  | 30.7<br>133,968,676,546 | △ 11.4<br>118,726,315,545 |
| (A)/(B)   | 11.7                   | 9.6                      | 8.3                     | 7.5                     | 7.2                       |

※ 「市債収入額 (A)」及び「歳入決算額 (B)」欄の上段は、対前年度増減率である。

# 収入未済額の内訳

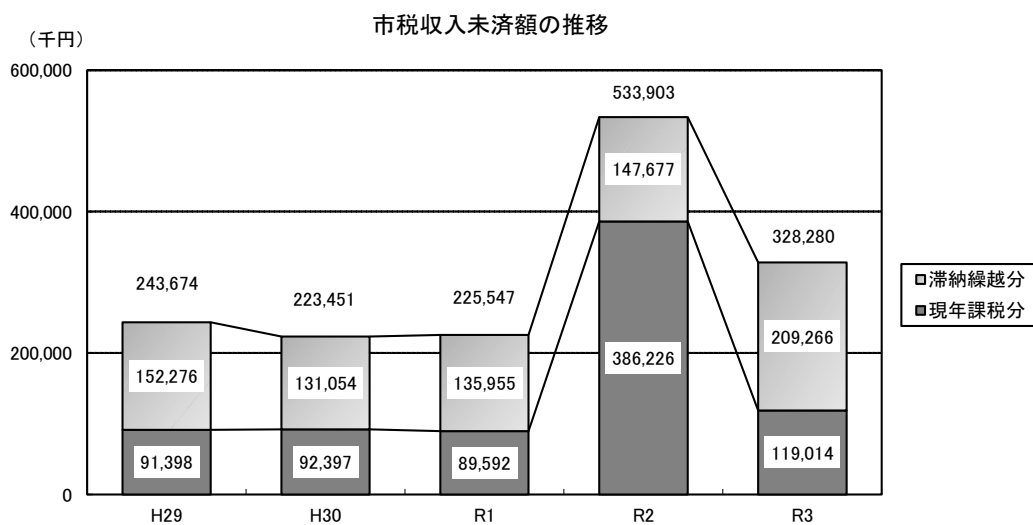
(単位：円、%)

| 区 分                | 収入未済額         |               | 比較増減          |        |
|--------------------|---------------|---------------|---------------|--------|
|                    | 令和3年度         | 令和2年度         | 増減額           | 増減率    |
| <b>1 市税</b>        | 328,279,791   | 533,902,628   | △ 205,622,837 | △ 38.5 |
| <b>個人市民税</b>       | 102,861,986   | 164,153,181   | △ 61,291,195  | △ 37.3 |
| <b>法人市民税</b>       | 19,036,659    | 39,292,622    | △ 20,255,963  | △ 51.6 |
| <b>固定資産税</b>       | 177,108,008   | 290,026,001   | △ 112,917,993 | △ 38.9 |
| <b>軽自動車税</b>       | 10,119,774    | 8,867,527     | 1,252,247     | 14.1   |
| <b>都市計画税</b>       | 19,153,364    | 31,563,297    | △ 12,409,933  | △ 39.3 |
| <b>13 分担金及び負担金</b> | 47,312,360    | 40,591,425    | 6,720,935     | 16.6   |
| <b>14 使用料及び手数料</b> | 54,553,570    | 62,156,983    | △ 7,603,413   | △ 12.2 |
| 15 国庫支出金           | 2,491,954,073 | 2,213,765,186 | 278,188,887   | 12.6   |
| 16 県支出金            | 1,216,686,944 | 1,818,083,600 | △ 601,396,656 | △ 33.1 |
| <b>17 財産収入</b>     | 14,103,198    | 12,920,245    | 1,182,953     | 9.2    |
| <b>21 諸収入</b>      | 260,153,172   | 264,292,057   | △ 4,138,885   | △ 1.6  |
| 22 市債              | 2,130,223,000 | 2,148,461,000 | △ 18,238,000  | △ 0.8  |
| 合 計                | 6,543,266,108 | 7,094,173,124 | △ 550,907,016 | △ 7.8  |

## ※ゴシック体のものは自主財源

収入未済額は、前年度に比べ 5 億 5,090 万円（7.8%）減少している。この要因は主に、県支出金 6 億 139 万円及び市税 2 億 562 万円が減少したためである。

市税の収入未済額が減少した主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う徴収猶予の特例が終了し、徴収猶予された税額が納付されたためとみられる。現年課税分の収入未済額は 1 億 1,901 万円で、前年度に比べ 2 億 6,721 万円（69.2%）減少した。一方、滞納繰越分の収入未済額は 2 億 926 万円で、前年度に比べ 6,158 万円（41.7%）増加している。



当年度の市税の収納率は、現年課税分 99.61%、滞納繰越分 58.31%、全体の収納率は 98.91%（前年度 98.26%）で、前年度に続き高い収納率となっている。

## 不納欠損額の内訳

(単位：円、%)

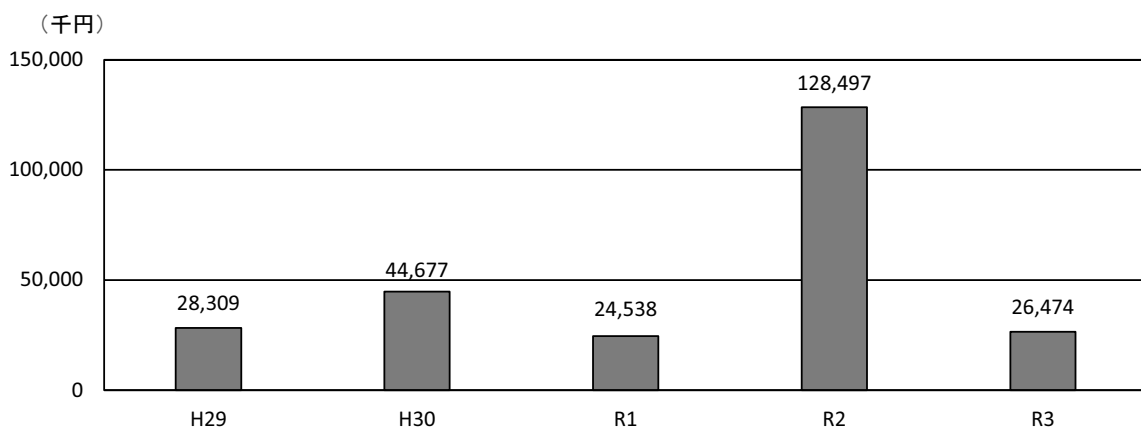
| 区 分         | 不納欠損額      |             | 比較増減          |        |
|-------------|------------|-------------|---------------|--------|
|             | 令和3年度      | 令和2年度       | 増減額           | 増減率    |
| 1 市税        | 13,295,380 | 11,536,528  | 1,758,852     | 15.2   |
| 個人市民税       | 7,045,346  | 7,462,238   | △ 416,892     | △ 5.6  |
| 固定資産税       | 4,752,126  | 3,224,189   | 1,527,937     | 47.4   |
| 軽自動車税       | 986,757    | 498,828     | 487,929       | 97.8   |
| 都市計画税       | 511,151    | 351,273     | 159,878       | 45.5   |
| 13 分担金及び負担金 | 642,100    | 1,352,400   | △ 710,300     | △ 52.5 |
| 14 使用料及び手数料 | 5,294,383  | 8,328,529   | △ 3,034,146   | △ 36.4 |
| 17 財産収入     | 190,000    | 0           | 190,000       | 皆増     |
| 21 諸収入      | 7,052,043  | 107,279,089 | △ 100,227,046 | △ 93.4 |
| 合 計         | 26,473,906 | 128,496,546 | △ 102,022,640 | △ 79.4 |

当年度の不納欠損額は2,647万円で、前年度に比べ1億202万円（79.4%）減少している。不納欠損額が減少した主な要因は、前年度に債権放棄した商工費貸付金元利収入1億62万円の減少である。

不納欠損額の事由別内訳は、時効によるもの1,463万円、執行停止後3年経過したことによるもの774万円、即時消滅したもの375万円及び令和2年4月1日から施行した佐賀市債権管理条例により債権放棄をしたもの34万円となっている。

なお、年度別の不納欠損額は次のとおりである。

## 不納欠損額の推移



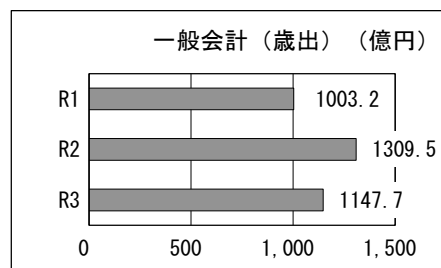
(2) 歳出概要

一般会計歳出決算額

(単位：円、%)

| 区 分               |          | 令和3年度           | 令和2年度           | 比較増減             |        |
|-------------------|----------|-----------------|-----------------|------------------|--------|
|                   |          |                 |                 | 増減額              | 増減率    |
| 予算現額              | A        | 124,789,684,325 | 140,614,923,067 | △ 15,825,238,742 | △ 11.3 |
| 支出済額              | B        | 114,767,430,012 | 130,950,712,823 | △ 16,183,282,811 | △ 12.4 |
| 翌年度繰越額            | C        | 6,680,896,782   | 7,664,396,325   | △ 983,499,543    | △ 12.8 |
| 不用額               | D(A-B-C) | 3,341,357,531   | 1,999,813,919   | 1,341,543,612    | 67.1   |
| 予算現額と支出済額との比較     | (A-B)    | 10,022,254,313  | 9,664,210,244   | —                | —      |
| 予算現額に対する執行率       | (B/A)    | 92.0            | 93.1            | —                | —      |
| 予算現額に対する翌年度繰越額の割合 | (C/A)    | 5.4             | 5.5             | —                | —      |
| 予算現額に対する不用額の割合    | (D/A)    | 2.7             | 1.4             | —                | —      |

一般会計歳出においては、予算現額、支出済額ともに前年度を下回っている。支出済額は、前年度に比べ161億8,328万円(12.4%)減少している。この要因は、新型コロナウイルス感染症に係る特別定額給付金給付事業232億6,760万円の減少によるものが大きい。



予算現額に対する執行率は、前年度に比べて1.1ポイント下がり、不用額は、前年度に比べて13億4,154万円(67.1%)増加している。予算現額に対する不用額の割合も、前年度に比べて1.3ポイント上がり2.7%となった。

不用額は33億4,135万円で、主なものとして民生費12億8,156万円、衛生費6億7,450万円及び商工費3億7,819万円などが挙げられる。

なお、翌年度繰越額は、前年度に比べて9億8,349万円(12.8%)減少している。

一般会計款別歳出状況

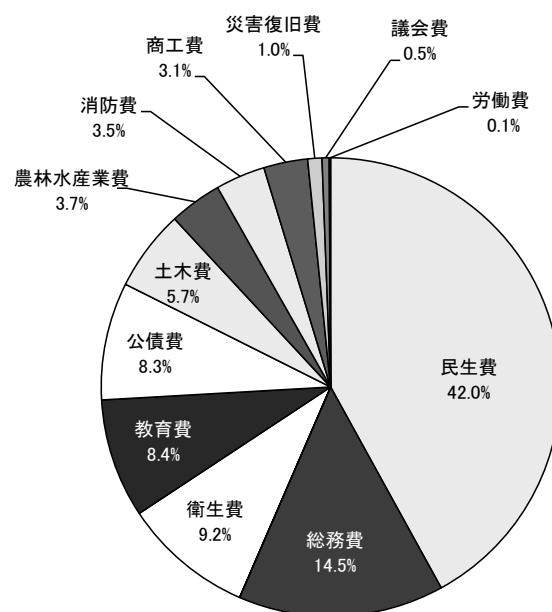
(単位：円、%)

| 区 分      | 令和3年度           |       | 令和2年度           |       | 比較増減             |        |
|----------|-----------------|-------|-----------------|-------|------------------|--------|
|          | 支出済額            | 構成比   | 支出済額            | 構成比   | 増減額              | 増減率    |
| 1 議会費    | 546,583,646     | 0.5   | 552,476,923     | 0.4   | △ 5,893,277      | △ 1.1  |
| 2 総務費    | 16,621,736,022  | 14.5  | 36,042,887,906  | 27.5  | △ 19,421,151,884 | △ 53.9 |
| 3 民生費    | 48,227,132,428  | 42.0  | 42,297,085,498  | 32.3  | 5,930,046,930    | 14.0   |
| 4 衛生費    | 10,519,344,592  | 9.2   | 9,431,075,196   | 7.2   | 1,088,269,396    | 11.5   |
| 5 労働費    | 61,462,746      | 0.1   | 62,220,288      | 0.0   | △ 757,542        | △ 1.2  |
| 6 農林水産業費 | 4,229,860,179   | 3.7   | 4,577,647,126   | 3.5   | △ 347,786,947    | △ 7.6  |
| 7 商工費    | 3,527,862,028   | 3.1   | 4,208,561,170   | 3.2   | △ 680,699,142    | △ 16.2 |
| 8 土木費    | 6,521,608,900   | 5.7   | 7,000,474,482   | 5.3   | △ 478,865,582    | △ 6.8  |
| 9 消防費    | 4,058,245,894   | 3.5   | 3,999,665,818   | 3.1   | 58,580,076       | 1.5    |
| 10 教育費   | 9,682,272,834   | 8.4   | 11,873,840,832  | 9.1   | △ 2,191,567,998  | △ 18.5 |
| 11 災害復旧費 | 1,190,985,921   | 1.0   | 1,556,195,094   | 1.2   | △ 365,209,173    | △ 23.5 |
| 12 公債費   | 9,580,334,822   | 8.3   | 9,348,582,490   | 7.1   | 231,752,332      | 2.5    |
| 13 予備費   | 0               | 0.0   | 0               | 0.0   | 0                | —      |
| 合 計      | 114,767,430,012 | 100.0 | 130,950,712,823 | 100.0 | △ 16,183,282,811 | △ 12.4 |

支出済額で款別構成比が高いものは、民生費 482 億 2,713 万円 (42.0%)、総務費 166 億 2,173 万円 (14.5%)、衛生費 105 億 1,934 万円 (9.2%)、教育費 96 億 8,227 万円 (8.4%) 及び公債費 95 億 8,033 万円 (8.3%) が挙げられ、これらで歳出総額の 82.4% を占めている。

支出済額を前年度と比較すると、民生費、衛生費、公債費などが増加し、総務費、教育費、商工費などが減少している。なお、総務費が 194 億 2,115 万円減少した主な要因は、特別定額給付金給付事業 232 億 6,760 万円が減少したためである。

款別割合



# 性質別歳出決算額

(単位：千円、%)

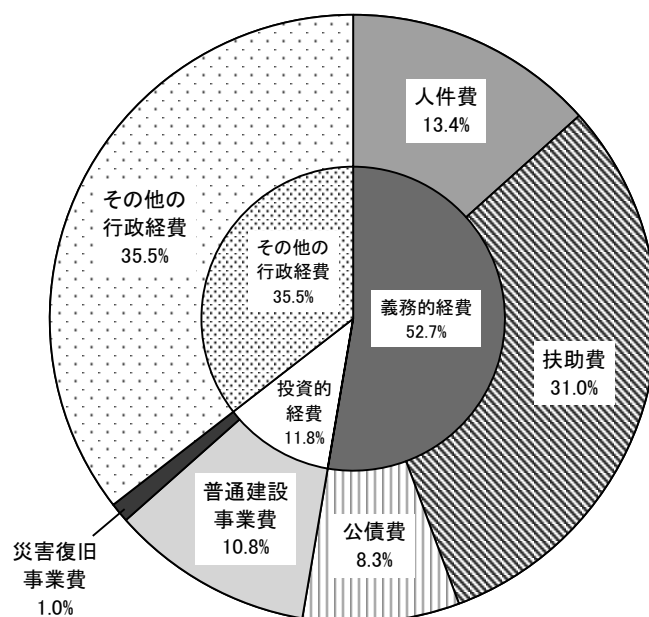
| 区 分      | 令和3年度       |       | 令和2年度       |       | 比較増減         |        |
|----------|-------------|-------|-------------|-------|--------------|--------|
|          | 決算額         | 構成比   | 決算額         | 構成比   | 増減額          | 増減率    |
| 義務的経費    | 60,465,600  | 52.7  | 54,675,724  | 41.8  | 5,789,876    | 10.6   |
| 人件費      | 15,340,441  | 13.4  | 15,285,860  | 11.7  | 54,581       | 0.4    |
| 扶助費      | 35,543,371  | 31.0  | 30,038,416  | 22.9  | 5,504,955    | 18.3   |
| 公債費      | 9,581,788   | 8.3   | 9,351,448   | 7.1   | 230,340      | 2.5    |
| 投資的経費    | 13,577,263  | 11.8  | 15,327,140  | 11.7  | △ 1,749,877  | △ 11.4 |
| 普通建設事業費  | 12,383,836  | 10.8  | 13,766,486  | 10.5  | △ 1,382,650  | △ 10.0 |
| 災害復旧事業費  | 1,193,427   | 1.0   | 1,560,654   | 1.2   | △ 367,227    | △ 23.5 |
| その他の行政経費 | 40,724,529  | 35.5  | 60,947,572  | 46.5  | △ 20,223,043 | △ 33.2 |
| 合 計      | 114,767,392 | 100.0 | 130,950,436 | 100.0 | △ 16,183,044 | △ 12.4 |

※『地方財政状況調査表』による。なお、数値は令和4年7月20日現在のものである。

性質別に歳出決算額を見てみると、前年度に比べ義務的経費は増加したが、投資的経費及びその他の行政経費は減少している。なかでも減少率が高いものは、その他の行政経費である。

その他の行政経費が減少した主な要因として、特別定額給付金給付事業 232 億 6,760 万円及び事業継続支援事業 14 億 6,113 万円の減少が挙げられる。

## 性質別歳出決算構成比



翌年度繰越額

(単位：円、%)

| 区 分      | 令和3年度         | 令和2年度         | 比較増減          |         |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------|
|          |               |               | 増減額           | 増減率     |
| 2 総務費    | 707,897,905   | 689,943,701   | 17,954,204    | 2.6     |
| 3 民生費    | 666,028,239   | 435,675,000   | 230,353,239   | 52.9    |
| 4 衛生費    | 548,768,000   | 26,572,000    | 522,196,000   | 1,965.2 |
| 6 農林水産業費 | 865,004,779   | 1,034,808,350 | △ 169,803,571 | △ 16.4  |
| 7 商工費    | 274,144,200   | 690,825,258   | △ 416,681,058 | △ 60.3  |
| 8 土木費    | 1,844,893,571 | 1,889,650,260 | △ 44,756,689  | △ 2.4   |
| 9 消防費    | 64,613,970    | 310,329,000   | △ 245,715,030 | △ 79.2  |
| 10 教育費   | 1,110,931,938 | 1,662,726,281 | △ 551,794,343 | △ 33.2  |
| 11 災害復旧費 | 598,614,180   | 923,866,475   | △ 325,252,295 | △ 35.2  |
| 合 計      | 6,680,896,782 | 7,664,396,325 | △ 983,499,543 | △ 12.8  |

翌年度繰越額は、前年度に比べて9億8,349万円減少している。款別で増加率が大きなものからみると、衛生費は新型コロナウイルスワクチン接種事業の繰越額により前年度に比べ5億2,219万円(1,965.2%)の増加、民生費は住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業等の繰越額により2億3,035万円(52.9%)の増加となっている。

< 翌年度繰越額財源内訳 >

(単位：円、%)

| 区 分   | 翌年度繰越額        | 既収入特定財源     | 未収入特定財源       |               |            | 一般財源        |
|-------|---------------|-------------|---------------|---------------|------------|-------------|
|       |               |             | 国県支出金         | 地方債           | その他        |             |
| 令和3年度 | 6,680,896,782 | 0           | 3,709,260,296 | 2,130,223,000 | 22,487,275 | 818,926,211 |
|       | 100.00        | 0.00        | 55.52         | 31.89         | 0.34       | 12.26       |
| 令和2年度 | 7,664,396,325 | 793,963,492 | 4,031,848,786 | 2,148,461,000 | 10,240,875 | 679,882,172 |
|       | 100.00        | 10.36       | 52.60         | 28.03         | 0.13       | 8.87        |

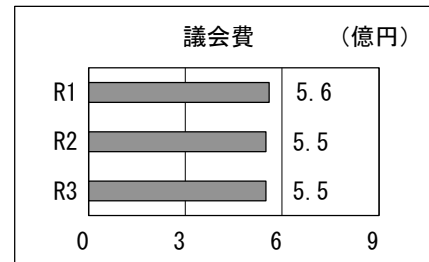
## 第1款 議会費

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額        | 支出済額        | 翌年度繰越額 | 不用額        |
|-------|-------------|-------------|--------|------------|
| 令和3年度 | 575,984,000 | 546,583,646 | 0      | 29,400,354 |
| 令和2年度 | 581,712,000 | 552,476,923 | 0      | 29,235,077 |
| 比較増減  | △ 5,728,000 | △ 5,893,277 | 0      | 165,277    |

支出済額は、前年度に比べ589万円(1.1%)減少している。この要因は主に、議員人件費815万円の減少である。

支出済額の主なものは、報酬2億3,913万円、給料・職員手当等1億6,210万円及び共済費9,698万円である。



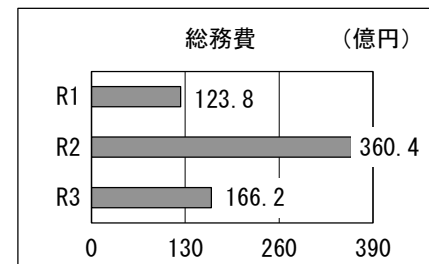
## 第2款 総務費

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額             | 支出済額             | 翌年度繰越額      | 不用額          |
|-------|------------------|------------------|-------------|--------------|
| 令和3年度 | 17,603,068,680   | 16,621,736,022   | 707,897,905 | 273,434,753  |
| 令和2年度 | 37,090,253,764   | 36,042,887,906   | 689,943,701 | 357,422,157  |
| 比較増減  | △ 19,487,185,084 | △ 19,421,151,884 | 17,954,204  | △ 83,987,404 |

支出済額は、前年度に比べ194億2,115万円(53.9%)減少している。この要因は主に、基金積立金22億5,550万円が増加したが、特別定額給付金給付事業232億6,760万円が減少したためである。

支出済額の主なものは、給料・職員手当等45億2,165万円、積立金37億2,161万円及び委託料29億3,140万円である。



なお、翌年度への繰越状況は次表のとおりである。

<繰越明許>

(単位：円)

| 項         | 目          | 翌年度繰越額      | 事業名               |
|-----------|------------|-------------|-------------------|
| 総務管理費     | 公共交通費      | 4,500,000   | 地域内公共交通維持確保特別支援事業 |
|           | 文化施設費      | 124,783,000 | 文化会館施設改修事業        |
|           |            | 58,026,000  | 文化会館西側広場等解体事業     |
|           | 佐賀駅周辺整備事業費 | 138,052,611 | 佐賀駅周辺整備事業         |
| 戸籍住民基本台帳費 | 戸籍住民基本台帳費  | 11,990,000  | 住民基本台帳システム改修事業    |
| 合 計       |            | 337,351,611 |                   |

<通次繰越>

(単位：円)

| 項     | 目                      | 翌年度繰越額      | 事業名           |
|-------|------------------------|-------------|---------------|
| 総務管理費 | 諸富支所庁舎等移転整備事業継続費本年度支出額 | 180,755,064 | 諸富支所庁舎等移転整備事業 |
|       | 川副支所庁舎整備事業継続費本年度支出額    | 189,791,230 | 川副支所庁舎整備事業    |
| 合 計   |                        | 370,546,294 |               |

### 第3款 民生費

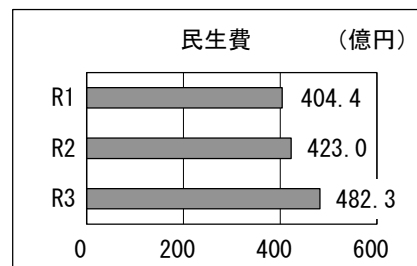
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額           | 支出済額           | 翌年度繰越額      | 不用額           |
|-------|----------------|----------------|-------------|---------------|
| 令和3年度 | 50,174,729,000 | 48,227,132,428 | 666,028,239 | 1,281,568,333 |
| 令和2年度 | 43,195,435,000 | 42,297,085,498 | 435,675,000 | 462,674,502   |
| 比較増減  | 6,979,294,000  | 5,930,046,930  | 230,353,239 | 818,893,831   |

支出済額は、前年度に比べ59億3,004万円(14.0%)増加している。この要因は主に、子育て世帯臨時特別給付金支給事業32億9,809万円及び住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業20億4,362万円が増加したためである。

支出済額の主なものは、負担金、補助及び交付金218億5,897万円、扶助費195億6,438万円及び繰出金29億3,910万円である。

なお、翌年度への繰越状況は次表のとおりである。



<繰越明許>

(単位：円)

| 項      | 目                     | 翌年度繰越額      | 事業名                  |
|--------|-----------------------|-------------|----------------------|
| 社会福祉費  | 保健福祉会館費               | 3,500,000   | 保健福祉会館改修事業           |
|        | 住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業費 | 409,292,960 | 住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業 |
| 高齢者福祉費 | 高齢者在宅福祉費              | 41,151,000  | 地域介護施設整備費補助事業        |
| 児童福祉費  | 保育所費                  | 146,211,000 | 公立認定こども園整備事業         |
|        | 子育て世帯臨時特別給付金支給事業費     | 65,873,279  | 子育て世帯臨時特別給付金支給事業     |
| 合 計    |                       | 666,028,239 |                      |

### 第4款 衛生費

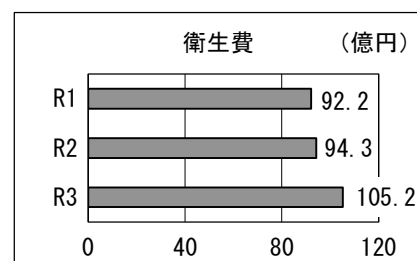
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額           | 支出済額           | 翌年度繰越額      | 不用額         |
|-------|----------------|----------------|-------------|-------------|
| 令和3年度 | 11,742,614,350 | 10,519,344,592 | 548,768,000 | 674,501,758 |
| 令和2年度 | 9,689,408,637  | 9,431,075,196  | 26,572,000  | 231,761,441 |
| 比較増減  | 2,053,205,713  | 1,088,269,396  | 522,196,000 | 442,740,317 |

支出済額は、前年度に比べ10億8,826万円(11.5%)増加している。この要因は主に、東よか干潟拠点施設整備事業3億3,502万円及び小児インフルエンザ予防接種経費1億1,893万円が減少したが、新型コロナウイルスワクチン接種経費15億8,283万円が増加したためである。

支出済額の主なものは、委託料44億5,107万円、繰出金31億6,223万円及び給料・職員手当等12億2,874万円である。

なお、翌年度への繰越状況は次表のとおりである。



<繰越明許>

(単位：円)

| 項     | 目   | 翌年度繰越額      | 事業名               |
|-------|-----|-------------|-------------------|
| 保健衛生費 | 予防費 | 548,768,000 | 新型コロナウイルスワクチン接種事業 |

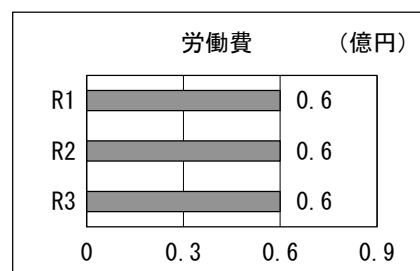
## 第5款 労働費

(単位：円)

| 区 分   | 予算現額       | 支出済額       | 翌年度繰越額 | 不用額     |
|-------|------------|------------|--------|---------|
| 令和3年度 | 62,155,000 | 61,462,746 | 0      | 692,254 |
| 令和2年度 | 62,421,000 | 62,220,288 | 0      | 200,712 |
| 比較増減  | △ 266,000  | △ 757,542  | 0      | 491,542 |

支出済額は、前年度に比べ75万円(1.2%)減少している。この要因は主に、中小企業人材確保支援事業35万円が減少したためである。

支出済額の主なものは、貸付金5,650万円である。



## 第6款 農林水産業費

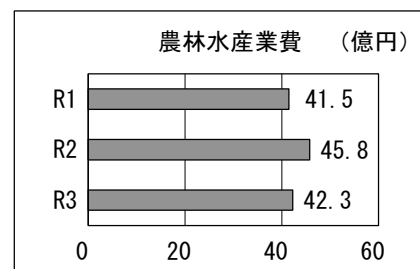
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 支出済額          | 翌年度繰越額        | 不用額         |
|-------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 令和3年度 | 5,200,347,563 | 4,229,860,179 | 865,004,779   | 105,482,605 |
| 令和2年度 | 5,694,362,194 | 4,577,647,126 | 1,034,808,350 | 81,906,718  |
| 比較増減  | △ 494,014,631 | △ 347,786,947 | △ 169,803,571 | 23,575,887  |

支出済額は、前年度に比べ3億4,778万円(7.6%)減少している。この要因は主に、漁業経営構造改善事業6億1,059万円が増加したが、耕種作物共同利用施設整備事業(産地パワーアップ事業)8億5,198万円が減少したためである。

支出済額の主なものは、負担金、補助及び交付金22億2,161万円、給料・職員手当等8億201万円及び工事請負費4億9,171万円である。

なお、翌年度への繰越状況は次表のとおりである。



&lt;繰越明許&gt;

(単位：円)

| 項    | 目           | 翌年度繰越額      | 事業名                          |
|------|-------------|-------------|------------------------------|
| 農業費  | 農業総務費       | 2,444,479   | 営農再開・草勢樹勢回復等被害対策補助事業         |
|      | 特産物振興事業費    | 570,068,000 | 農業用施設等整備支援事業（産地生産基盤パワーアップ事業） |
|      | 土地改良事業費     | 19,770,000  | 水草対策浚渫事業                     |
|      |             | 16,200,000  | 農地耕作条件改善事業                   |
|      | 農村振興総合整備事業費 | 113,417,300 | 農村振興総合整備事業                   |
| 林業費  | 林業振興費       | 6,800,000   | 木材供給センター法面改修事業               |
|      |             | 40,205,000  | 山村強靱化林道整備事業                  |
|      |             | 6,300,000   | 農林地崩壊対策事業 井手地区外              |
| 水産業費 | 漁港管理費       | 89,800,000  | 漁港施設ストックマネジメント事業             |
| 合 計  |             | 865,004,779 |                              |

## 第7款 商工費

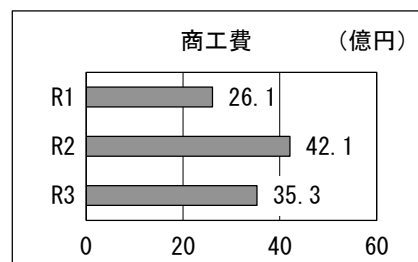
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 支出済額          | 翌年度繰越額        | 不用額         |
|-------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 令和3年度 | 4,180,196,258 | 3,527,862,028 | 274,144,200   | 378,190,030 |
| 令和2年度 | 5,002,248,011 | 4,208,561,170 | 690,825,258   | 102,861,583 |
| 比較増減  | △ 822,051,753 | △ 680,699,142 | △ 416,681,058 | 275,328,447 |

支出済額は、前年度に比べ6億8,069万円（16.2％）減少している。この要因は主に、第3次事業継続支援事業3億8,669万円及び第2次事業継続支援事業2億6,687万円が増加したが、事業継続支援事業14億6,113万円が減少したためである。

支出済額の主なもの、負担金、補助及び交付金11億3,604万円、貸付金8億7,121万円及び委託料7億8,740万円である。

なお、翌年度への繰越状況は次表のとおりである。



&lt;繰越明許&gt;

(単位：円)

| 項   | 目     | 翌年度繰越額      | 事業名                 |
|-----|-------|-------------|---------------------|
| 商工費 | 商業振興費 | 219,800,000 | プレミアム付地域振興券発行事業     |
|     |       | 5,000,000   | 中心市街地機能複合化推進事業      |
|     |       | 25,600,000  | バスセンターサイン再編整備事業     |
|     | 観光施設費 | 1,234,200   | パルーンミュージアム受変電設備更新事業 |
| 合 計 |       | 251,634,200 |                     |

&lt;事故繰越&gt;

(単位：円)

| 項   | 目       | 翌年度繰越額     | 事業名                   |
|-----|---------|------------|-----------------------|
| 商工費 | 街づくり推進費 | 22,510,000 | SAGAスマート街なかプロジェクト実証事業 |

## 第8款 土木費

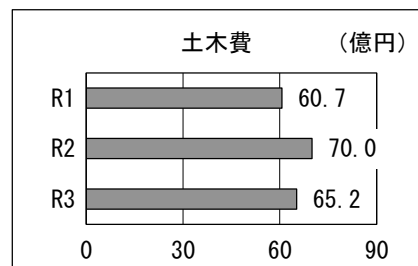
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 支出済額          | 翌年度繰越額        | 不用額          |
|-------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 令和3年度 | 8,428,264,977 | 6,521,608,900 | 1,844,893,571 | 61,762,506   |
| 令和2年度 | 8,980,150,934 | 7,000,474,482 | 1,889,650,260 | 90,026,192   |
| 比較増減  | △ 551,885,957 | △ 478,865,582 | △ 44,756,689  | △ 28,263,686 |

支出済額は、前年度に比べ4億7,886万円(6.8%)減少している。この要因は主に、市営住宅ストック総合改善事業1億7,570万円及び川副中央幹線道路整備事業1億6,213万円が増加したが、北原団地建替事業5億8,492万円が減少したためである。

支出済額の主なものは、工事請負費23億1,980万円、委託料14億4,114万円及び給料・職員手当等11億7,491万円である。

なお、翌年度への繰越状況は次表のとおりである。



&lt;繰越明許&gt;

(単位：円)

| 項       | 目         | 翌年度繰越額        | 事業名                    |
|---------|-----------|---------------|------------------------|
| 土木管理費   | 国土調査費     | 8,234,583     | 地籍調査事業                 |
|         | 建築指導費     | 254,826,000   | 耐震改修費補助事業              |
| 道路橋りょう費 | 道路維持費     | 10,605,080    | 道路維持補修事業 市道木原団地5号線外2路線 |
|         |           | 82,706,000    | 自歩道照明灯ＬＥＤ化事業           |
|         |           | 4,000,000     | 道路構造物等定期点検事業           |
|         | 道路新設改良費   | 406,162,739   | 川副中央幹線道路整備事業           |
|         |           | 27,160,000    | 天草江北島線道路整備事業           |
|         |           | 46,930,882    | 植木橋木角線道路整備事業           |
|         |           | 47,267,042    | 大財町北島線道路整備事業           |
|         |           | 58,201,678    | 上高木東湊線外1路線道路整備事業       |
|         |           | 82,420,370    | 佐賀コロニー跡地開発関連道路整備事業     |
|         |           | 960,100       | 通学路安全対策整備事業 総合運動場高木団地線 |
|         |           | 39,133,500    | 三溝線道路整備事業              |
|         |           | 19,511,500    | 三溝線高質化整備事業             |
|         |           | 110,000,000   | 三溝線無電柱化整備事業            |
|         |           | 30,535,080    | 歴史的風致維持向上計画道路整備事業      |
|         |           | 30,264,265    | 道路一般改良事業 赤井手草場線外3路線    |
|         |           | 4,470,600     | 佐賀県総合運動場周辺道路整備事業       |
|         |           | 27,020,946    | 公立認定こども園アクセス道路整備事業     |
|         |           | 158,606,675   | 橋りょう新設改良費              |
|         | 河川排水浄化対策費 | 3,188,000     | 橋りょう長寿命化事業 合瀬橋外        |
|         |           | 2,852,000     | 河川・樋門等維持管理事業 真手川外      |
|         |           | 17,400,000    | 佐賀コロニー跡地開発関連水路整備事業     |
|         | 河川新設改良費   | 41,670,041    | 川上地区調整池整備事業            |
|         |           | 50,295,500    | 準用河川地蔵川改修事業            |
|         | 土砂災害対策費   | 98,307,000    | 急傾斜地崩壊防止事業 中鶴地区外       |
|         |           |               | 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業 原地区外  |
| 都市計画費   | 街路事業費     | 65,020,613    | 八戸天祐線街路整備事業            |
|         |           | 39,620,456    | 東高木木角線街路整備事業           |
|         |           | 59,000,000    | 水ヶ江町新郷線街路整備事業          |
|         |           | 13,728,921    | 街路単独経費 八戸天祐線           |
|         | 公園整備事業費   | 4,794,000     | 公園施設改修事業               |
| 合 計     |           | 1,844,893,571 |                        |

## 第9款 消防費

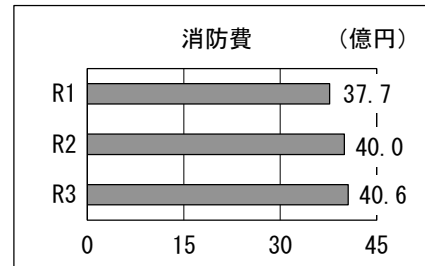
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 支出済額          | 翌年度繰越額        | 不用額         |
|-------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 令和3年度 | 4,166,761,000 | 4,058,245,894 | 64,613,970    | 43,901,136  |
| 令和2年度 | 4,363,308,862 | 3,999,665,818 | 310,329,000   | 53,314,044  |
| 比較増減  | △ 196,547,862 | 58,580,076    | △ 245,715,030 | △ 9,412,908 |

支出済額は、前年度に比べ5,858万円(1.5%)増加している。この要因は主に、消防格納庫整備事業5,340万円が減少したが、防災総合システム2期整備事業9,685万円が増加したためである。

支出済額の主なものは、負担金、補助及び交付金32億8,441万円及び工事請負費3億5,521万円である。

なお、翌年度への繰越状況は次表のとおりである。



<繰越明許>

(単位：円)

| 項   | 目     | 翌年度繰越額     | 事業名          |
|-----|-------|------------|--------------|
| 消防費 | 消防施設費 | 11,417,000 | 防火水槽整備事業     |
|     |       | 46,027,970 | 消防格納庫整備事業    |
|     |       | 4,796,000  | 消防施設等撤去事業    |
|     | 災害対策費 | 2,373,000  | ハザードマップ作成等事業 |
| 合 計 |       | 64,613,970 |              |

## 第10款 教育費

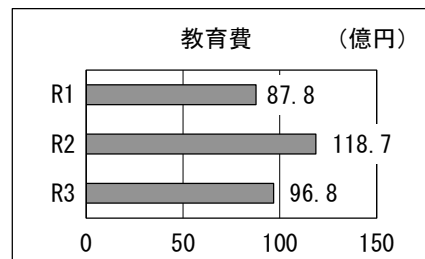
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額            | 支出済額            | 翌年度繰越額        | 不用額           |
|-------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|
| 令和3年度 | 11,018,864,051  | 9,682,272,834   | 1,110,931,938 | 225,659,279   |
| 令和2年度 | 13,932,994,361  | 11,873,840,832  | 1,662,726,281 | 396,427,248   |
| 比較増減  | △ 2,914,130,310 | △ 2,191,567,998 | △ 551,794,343 | △ 170,767,969 |

支出済額は、前年度に比べ21億9,156万円(18.5%)減少している。この要因は主に、学校給食施設整備事業7億8,891万円、東与賀小学校大規模改造事業6億9,439万円及び春日小学校大規模改造事業4億9,930万円が減少したためである。

支出済額の主なものは、委託料21億3,527万円、工事請負費17億406万円及び給料・職員手当等13億3,999万円である。

なお、翌年度への繰越状況は次表のとおりである。



<繰越明許>

(単位：円)

| 項     | 目       | 翌年度繰越額      | 事業名                     |
|-------|---------|-------------|-------------------------|
| 小学校費  | 学校管理費   | 45,000,000  | 学校感染症対策等支援事業            |
|       |         | 79,890,000  | 本庄小学校屋内運動場予防改修事業        |
|       | 学校建設費   | 113,708,040 | 兵庫小学校校舎増築事業             |
| 中学校費  | 学校管理費   | 21,150,000  | 学校感染症対策等支援事業            |
| 社会教育費 | 公民館費    | 45,689,590  | 諸富町公民館建設事業              |
|       |         | 32,049,500  | 西川副公民館建設事業              |
|       | 文化財保存費  | 39,289,000  | 東名遺跡・埋蔵文化財センター整備事業      |
| 保健体育費 | スポーツ施設費 | 272,509,100 | 富士しゃくなげ湖ボート・カヌー競技施設整備事業 |
| 合 計   |         | 649,285,230 |                         |

<通次繰越>

(単位：円)

| 項     | 目                       | 翌年度繰越額      | 事業名            |
|-------|-------------------------|-------------|----------------|
| 中学校費  | 諸富中学校屋内運動場改築事業継続費本年度支出額 | 455,697,708 | 諸富中学校屋内運動場改築事業 |
| 社会教育費 | 川上公民館建設事業継続費本年度支出額      | 5,949,000   | 川上公民館建設事業      |
| 合 計   |                         | 461,646,708 |                |

## 第 1 1 款 災害復旧費

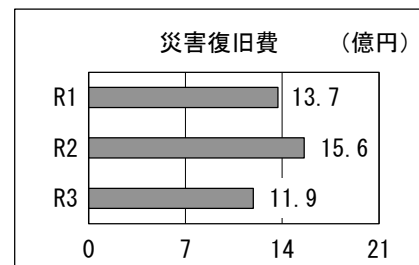
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 支出済額          | 翌年度繰越額        | 不用額         |
|-------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 令和3年度 | 2,008,913,575 | 1,190,985,921 | 598,614,180   | 219,313,474 |
| 令和2年度 | 2,633,214,081 | 1,556,195,094 | 923,866,475   | 153,152,512 |
| 比較増減  | △ 624,300,506 | △ 365,209,173 | △ 325,252,295 | 66,160,962  |

支出済額は、前年度に比べ 3 億 6,520 万円 (23.5%) 減少している。この要因は主に、林道災害復旧事業 1 億 9,510 万円及び公共土木施設災害復旧事業 1 億 2,801 万円が減少したためである。

支出済額の主なものは、工事請負費 9 億 7,978 万円及び委託料 2 億 1,039 万円である。

なお、翌年度への繰越状況は次表のとおりである。



<繰越明許>

(単位：円)

| 項           | 目             | 翌年度繰越額      | 事業名                    |
|-------------|---------------|-------------|------------------------|
| 農林水産施設災害復旧費 | 農地・農業用施設災害復旧費 | 320,903,980 | 農地・農業用施設災害復旧事業 小川道路外   |
|             | 林業施設災害復旧費     | 69,441,000  | 林道災害復旧事業 三反田線外         |
|             |               | 23,985,000  | 林道過年災害復旧事業 大野線         |
| 公共土木施設災害復旧費 | 公共土木施設災害復旧費   | 45,129,500  | 公共土木施設災害復旧事業 下無津呂線外    |
|             |               | 11,770,100  | 公共土木施設過年災害復旧事業 上小副川畑瀬線 |
|             |               | 110,257,800 | 公共土木施設災害復旧事業 神松川外      |
| 合 計         |               | 581,487,380 |                        |

<事故繰越>

(単位：円)

| 項           | 目           | 翌年度繰越額     | 事業名                    |
|-------------|-------------|------------|------------------------|
| 公共土木施設災害復旧費 | 公共土木施設災害復旧費 | 17,126,800 | 公共土木施設過年災害復旧事業 上小副川畑瀬線 |

## 第 1 2 款 公債費

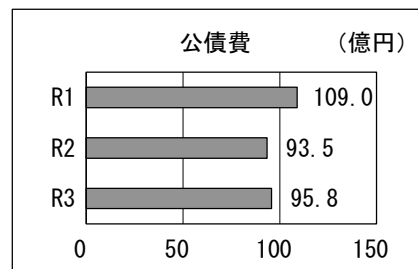
(単位：円)

| 区 分   | 予算現額          | 支出済額          | 翌年度繰越額 | 不用額       |
|-------|---------------|---------------|--------|-----------|
| 令和3年度 | 9,581,298,000 | 9,580,334,822 | 0      | 963,178   |
| 令和2年度 | 9,349,708,000 | 9,348,582,490 | 0      | 1,125,510 |
| 比較増減  | 231,590,000   | 231,752,332   | 0      | △ 162,332 |

支出済額は、前年度に比べ 2 億 3,175 万円 (2.5%) 増加している。

支出済額の内訳は、償還元金 91 億 8,637 万円及び償還利子 3 億 9,396 万円である。

なお、歳出決算額に占める公債費支出額の割合は、次表のとおりである。



(単位：円、%)

| 区 分       | 平成29年度                 | 平成30年度                  | 令和元年度                  | 令和2年度                   | 令和3年度                     |
|-----------|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 公債費支出額(A) | △ 1.5<br>9,798,331,708 | △ 4.7<br>9,335,733,717  | 16.8<br>10,900,111,218 | △ 14.2<br>9,348,582,490 | 2.5<br>9,580,334,822      |
| 歳出決算額(B)  | 2.5<br>99,017,650,738  | △ 1.1<br>97,930,195,586 | 2.4<br>100,318,991,348 | 30.5<br>130,950,712,823 | △ 12.4<br>114,767,430,012 |
| (A)/(B)   | 9.9                    | 9.5                     | 10.9                   | 7.1                     | 8.3                       |

※ 「公債費支出額(A)」及び「歳出決算額(B)」欄の上段は、対前年度増減率である。

### 第 13 款 予備費

(単位：円)

| 区 分   | 当初予算額       | 補正額 | 予備費充用額      | 予算現額       | 不用額        |
|-------|-------------|-----|-------------|------------|------------|
| 令和3年度 | 283,252,000 | 0   | 236,764,129 | 46,487,871 | 46,487,871 |
| 令和2年度 | 195,951,000 | 0   | 156,244,777 | 39,706,223 | 39,706,223 |
| 比較増減  | 87,301,000  | 0   | 80,519,352  | 6,781,648  | 6,781,648  |

予備費充用額は、前年度に比べ 8,051 万円（51.5％）増加している。

なお、各款への充用額の内訳は、次表のとおりである。

<予備費充用額内訳>

(単位：円、％)

| 区 分      | 令和3年度       | 令和2年度       | 比較増減         |        |
|----------|-------------|-------------|--------------|--------|
|          |             |             | 増減額          | 増減率    |
| 1 議会費    | 0           | 0           | 0            | —      |
| 2 総務費    | 9,484,979   | 25,984,020  | △ 16,499,041 | △ 63.5 |
| 3 民生費    | 0           | 0           | 0            | —      |
| 4 衛生費    | 9,350       | 3,134,617   | △ 3,125,267  | △ 99.7 |
| 5 労働費    | 0           | 0           | 0            | —      |
| 6 農林水産業費 | 48,730,213  | 61,624,619  | △ 12,894,406 | △ 20.9 |
| 7 商工費    | 0           | 1,298,000   | △ 1,298,000  | 皆減     |
| 8 土木費    | 53,902,717  | 6,015,021   | 47,887,696   | 796.1  |
| 9 消防費    | 1,054,000   | 10,933,992  | △ 9,879,992  | △ 90.4 |
| 10 教育費   | 14,818,770  | 1,417,508   | 13,401,262   | 945.4  |
| 11 災害復旧費 | 108,764,100 | 45,837,000  | 62,927,100   | 137.3  |
| 12 公債費   | 0           | 0           | 0            | —      |
| 合 計      | 236,764,129 | 156,244,777 | 80,519,352   | 51.5   |

### 3 特別会計

#### (1) 国民健康保険

#### 国民健康保険特別会計歳入歳出決算額

<歳入>

(単位：円、%)

| 区 分           |         | 令和3年度          | 令和2年度          | 比較増減         |        |
|---------------|---------|----------------|----------------|--------------|--------|
|               |         |                |                | 増減額          | 増減率    |
| 予算現額          | A       | 26,872,588,000 | 26,910,536,500 | △ 37,948,500 | △ 0.1  |
| 調定額           | B       | 27,377,033,246 | 27,117,640,233 | 259,393,013  | 1.0    |
| 収入済額          | C       | 26,713,557,013 | 26,433,662,124 | 279,894,889  | 1.1    |
| 不納欠損額         | D       | 21,100,222     | 25,713,172     | △ 4,612,950  | △ 17.9 |
| 収入未済額         | (B-C-D) | 642,376,011    | 658,264,937    | △ 15,888,926 | △ 2.4  |
| 予算現額と収入済額との比較 | (C-A)   | △ 159,030,987  | △ 476,874,376  | —            | —      |
| 予算現額に対する収入率   | (C/A)   | 99.4           | 98.2           | —            | —      |
| 調定額に対する収入率    | (C/B)   | 97.6           | 97.5           | —            | —      |

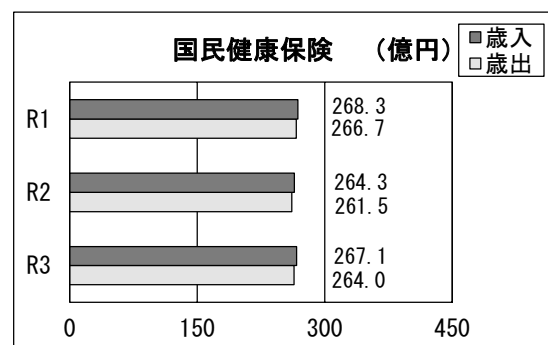
<歳出>

(単位：円、%)

| 区 分               |          | 令和3年度          | 令和2年度          | 比較増減          |        |
|-------------------|----------|----------------|----------------|---------------|--------|
|                   |          |                |                | 増減額           | 増減率    |
| 予算現額              | A        | 26,872,588,000 | 26,910,536,500 | △ 37,948,500  | △ 0.1  |
| 支出済額              | B        | 26,402,038,727 | 26,145,340,526 | 256,698,201   | 1.0    |
| 翌年度繰越額            | C        | 0              | 0              | 0             | —      |
| 不用額               | D(A-B-C) | 470,549,273    | 765,195,974    | △ 294,646,701 | △ 38.5 |
| 予算現額と支出済額との比較     | (A-B)    | 470,549,273    | 765,195,974    | —             | —      |
| 予算現額に対する執行率       | (B/A)    | 98.2           | 97.2           | —             | —      |
| 予算現額に対する翌年度繰越額の割合 | (C/A)    | 0.0            | 0.0            | —             | —      |
| 予算現額に対する不用額の割合    | (D/A)    | 1.8            | 2.8            | —             | —      |

国民健康保険特別会計歳入においては、前年度と比べ予算現額は減少しているが、調定額及び収入済額は、いずれも前年度より増加している。

収入済額の主なものは、県支出金 188 億 3,640 万円、国民健康保険税 53 億 5,398 万円、繰入金 21 億 9,796 万円で、これらで歳入総額の 98.8%を占めている。



不納欠損額は、2,110 万円で、前年度に比べ 461 万円 (17.9%) 減少している。

収入未済額は、6 億 4,237 万円で、前年度に比べ 1,588 万円 (2.4%) 減少している。

国民健康保険特別会計歳出においても、支出済額は前年度より増加している。

支出済額の主なものは、保険給付費 182 億 4,015 万円、国民健康保険事業費納付金 70 億 7,712 万円で、これらで歳出総額の 95.9%を占めている。

被保険者数は 4 万 5,898 人で前年度に比べ 685 人減少している。一方、一人当たりの

療養給付費分の費用額は46万円で、前年度と比べ2万円増加している。

翌年度繰越額は、発生していない。

不用額は、4億7,054万円で、主なものとして保険給付費3億8,921万円が挙げられる。

歳入決算額267億1,355万円から歳出決算額264億203万円を差し引いた形式収支額は3億1,151万円の黒字で、前年度比2,319万円の増加となり、実質収支額も同額の黒字となっている。この形式収支額については、令和4年度国民健康保険特別会計への繰越金として処理される。

なお、前年度からの繰越金である2億8,832万円については、1億2,000万円を平成29年度の累積赤字解消のために借り入れた佐賀県国民健康保険広域化等支援基金（市債）への償還金に充て、残りの1億6,832万円及び基金預金利子5万円の合計1億6,837万円を国民健康保険基金に積み立てている。なお、当年度末の市債残高は、4億4,000万円となっている。

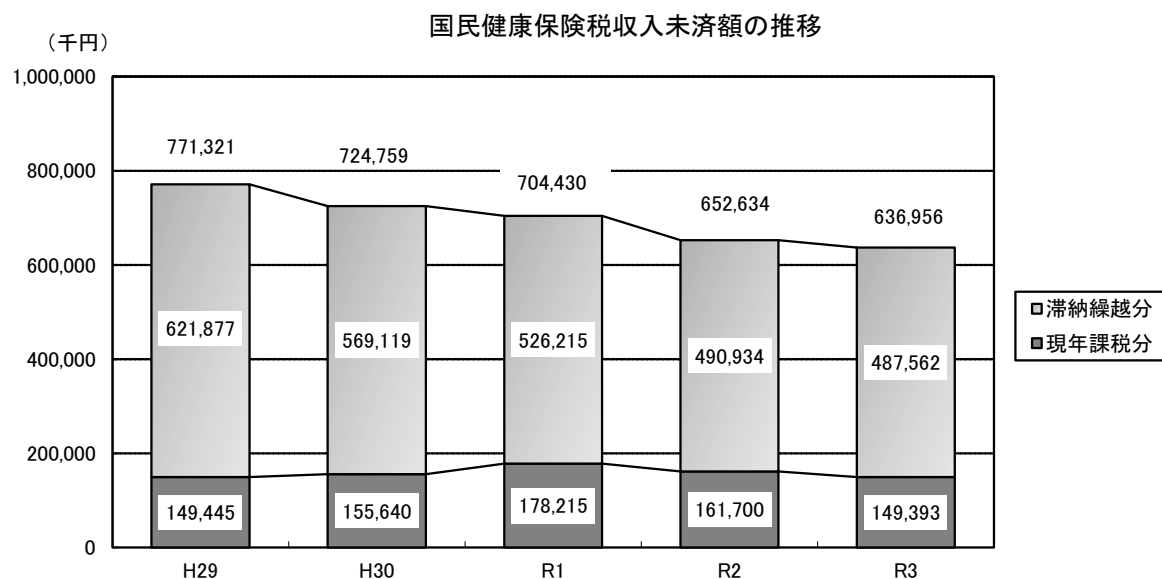
国民健康保険税の収納率は89.1%で、前年度と同じ収納率となった。

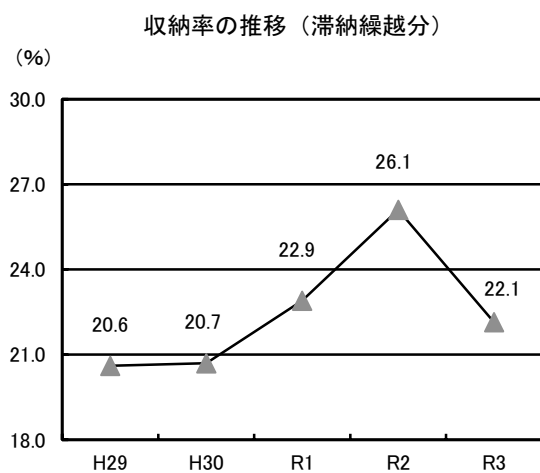
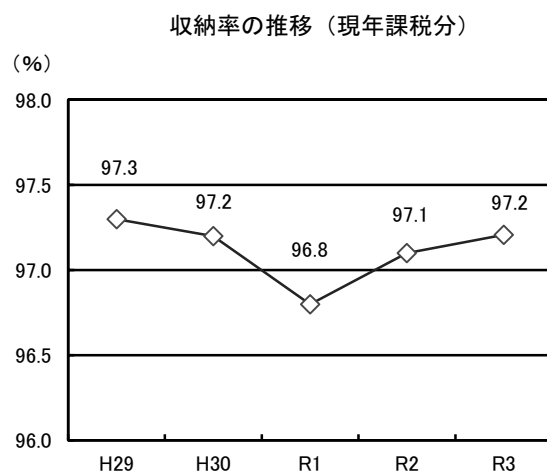
国民健康保険税の収納状況と、収入未済額及び収納率の推移は次表のとおりである。

< 国民健康保険税収納状況 >

(単位：円、%)

| 区 分     | 年度 | 調定額           | 収入済額          | 不納欠損額      | 収入未済額       | 収納率  |
|---------|----|---------------|---------------|------------|-------------|------|
| 国民健康保険税 | R3 | 6,012,042,350 | 5,353,986,502 | 21,100,222 | 636,955,626 | 89.1 |
|         | R2 | 6,221,535,610 | 5,543,244,582 | 25,656,579 | 652,634,449 | 89.1 |
| 現年課税分   | R3 | 5,359,031,000 | 5,209,428,985 | 208,822    | 149,393,193 | 97.2 |
|         | R2 | 5,522,650,109 | 5,360,533,964 | 415,822    | 161,700,323 | 97.1 |
| 滞納繰越分   | R3 | 653,011,350   | 144,557,517   | 20,891,400 | 487,562,433 | 22.1 |
|         | R2 | 698,885,501   | 182,710,618   | 25,240,757 | 490,934,126 | 26.1 |





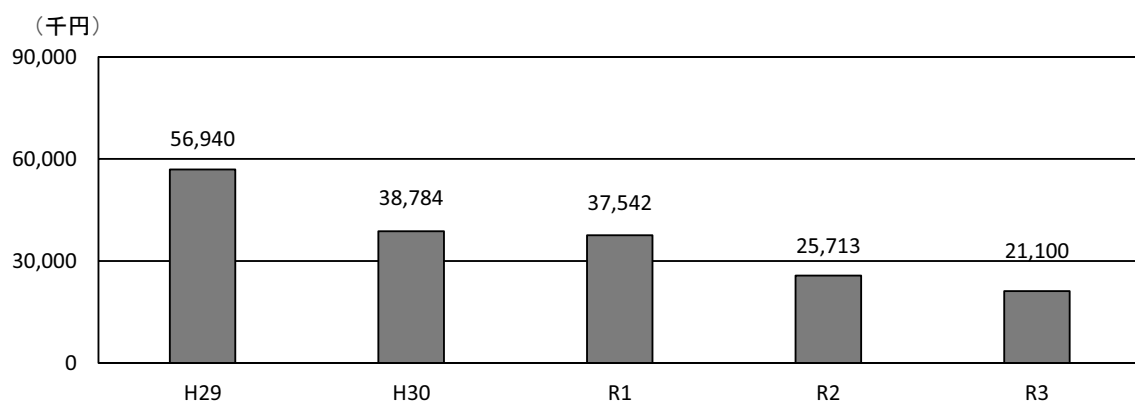
不納欠損額の推移は次表のとおりである。

<不納欠損額>

(単位：円、%)

| 区 分       | 不納欠損額      |            | 比較増減        |        |
|-----------|------------|------------|-------------|--------|
|           | 令和3年度      | 令和2年度      | 増減額         | 増減率    |
| 1 国民健康保険税 | 21,100,222 | 25,656,579 | △ 4,556,357 | △ 17.8 |
| 8 諸収入     | 0          | 56,593     | △ 56,593    | 皆減     |
| 合 計       | 21,100,222 | 25,713,172 | △ 4,612,950 | △ 17.9 |

### 不納欠損額の推移



(2) 国民健康保険診療所

国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算額

<歳入>

(単位：円、%)

| 区 分                 | 令和3年度        | 令和2年度        | 比較増減        |       |
|---------------------|--------------|--------------|-------------|-------|
|                     |              |              | 増減額         | 増減率   |
| 予算現額 A              | 110,218,718  | 116,422,000  | △ 6,203,282 | △ 5.3 |
| 調定額 B               | 99,122,833   | 104,488,895  | △ 5,366,062 | △ 5.1 |
| 収入済額 C              | 99,122,833   | 104,067,895  | △ 4,945,062 | △ 4.8 |
| 不納欠損額 D             | 0            | 0            | 0           | —     |
| 収入未済額 (B-C-D)       | 0            | 421,000      | △ 421,000   | 皆減    |
| 予算現額と収入済額との比較 (C-A) | △ 11,095,885 | △ 12,354,105 | —           | —     |
| 予算現額に対する収入率 (C/A)   | 89.9         | 89.4         | —           | —     |
| 調定額に対する収入率 (C/B)    | 100.0        | 99.6         | —           | —     |

<歳出>

(単位：円、%)

| 区 分                     | 令和3年度       | 令和2年度       | 比較増減        |       |
|-------------------------|-------------|-------------|-------------|-------|
|                         |             |             | 増減額         | 増減率   |
| 予算現額 A                  | 110,218,718 | 116,422,000 | △ 6,203,282 | △ 5.3 |
| 支出済額 B                  | 99,122,833  | 104,067,177 | △ 4,944,344 | △ 4.8 |
| 翌年度繰越額 C                | 0           | 421,718     | △ 421,718   | 皆減    |
| 不用額 D(A-B-C)            | 11,095,885  | 11,933,105  | △ 837,220   | △ 7.0 |
| 予算現額と支出済額との比較 (A-B)     | 11,095,885  | 12,354,823  | —           | —     |
| 予算現額に対する執行率 (B/A)       | 89.9        | 89.4        | —           | —     |
| 予算現額に対する翌年度繰越額の割合 (C/A) | 0.0         | 0.4         | —           | —     |
| 予算現額に対する不用額の割合 (D/A)    | 10.1        | 10.2        | —           | —     |

国民健康保険診療所特別会計歳入においては、前年度と比べ予算現額、調定額及び収入済額いずれも減少している。

収入済額の主なものは、診療収入 5,089 万円及び繰入金 4,181 万円で、これらで歳入総額の 93.5%を占めている。

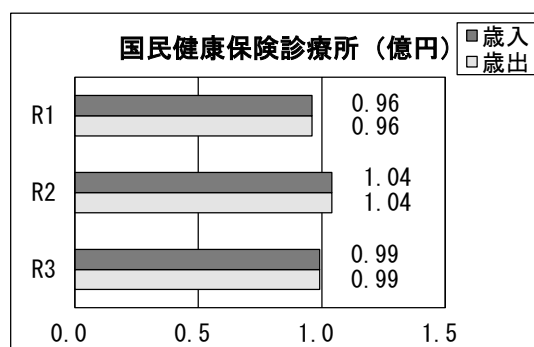
収入済額が 494 万円減少した主な要因は、国庫支出金 329 万円及び諸収入 97 万円が増加したが、診療収入 306 万円、県支出金 300 万円及び繰入金 284 万円が減少したためである。

不納欠損額は発生していない。

国民健康保険診療所特別会計歳出においても、歳入と同様、支出済額が減少している。

支出済額の主なものは、総務費 8,131 万円及び医業費 1,570 万円で、これらで支出済額の 97.9%を占めている。

支出済額が 494 万円減少した主な要因は、総務費 226 万円が増加したが、医業費 729 万円が減少したためである。



### (3) 後期高齢者医療

#### 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算額

<歳入>

(単位：円、%)

| 区 分                 | 令和3年度         | 令和2年度         | 比較増減       |        |
|---------------------|---------------|---------------|------------|--------|
|                     |               |               | 増減額        | 増減率    |
| 予算現額 A              | 3,504,875,000 | 3,470,484,000 | 34,391,000 | 1.0    |
| 調定額 B               | 3,518,894,985 | 3,471,011,900 | 47,883,085 | 1.4    |
| 収入済額 C              | 3,514,074,137 | 3,468,012,230 | 46,061,907 | 1.3    |
| 不納欠損額 D             | 260,648       | 463,156       | △ 202,508  | △ 43.7 |
| 収入未済額 (B-C-D)       | 4,560,200     | 2,536,514     | 2,023,686  | 79.8   |
| 予算現額と収入済額との比較 (C-A) | 9,199,137     | △ 2,471,770   | —          | —      |
| 予算現額に対する収入率 (C/A)   | 100.3         | 99.9          | —          | —      |
| 調定額に対する収入率 (C/B)    | 99.9          | 99.9          | —          | —      |

<歳出>

(単位：円、%)

| 区 分                     | 令和3年度         | 令和2年度         | 比較増減        |       |
|-------------------------|---------------|---------------|-------------|-------|
|                         |               |               | 増減額         | 増減率   |
| 予算現額 A                  | 3,504,875,000 | 3,470,484,000 | 34,391,000  | 1.0   |
| 支出済額 B                  | 3,431,808,234 | 3,390,150,315 | 41,657,919  | 1.2   |
| 翌年度繰越額 C                | 0             | 0             | 0           | —     |
| 不用額 D(A-B-C)            | 73,066,766    | 80,333,685    | △ 7,266,919 | △ 9.0 |
| 予算現額と支出済額との比較 (A-B)     | 73,066,766    | 80,333,685    | —           | —     |
| 予算現額に対する執行率 (B/A)       | 97.9          | 97.7          | —           | —     |
| 予算現額に対する翌年度繰越額の割合 (C/A) | 0.0           | 0.0           | —           | —     |
| 予算現額に対する不用額の割合 (D/A)    | 2.1           | 2.3           | —           | —     |

後期高齢者医療特別会計歳入においては、前年度と比べ予算現額、調定額及び収入済額いずれも増加している。

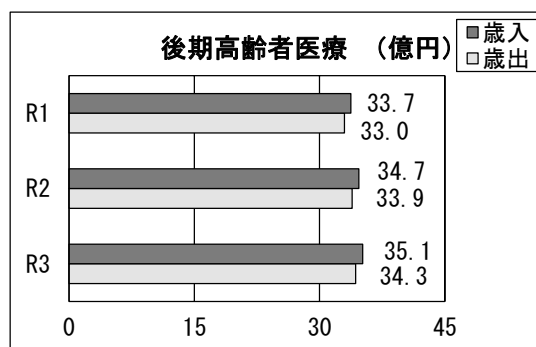
収入済額の主なものは、後期高齢者医療保険料 25 億 7,756 万円及び繰入金 8 億 3,501 万円で、これらで歳入総額の 97.1%を占めている。

不納欠損額は、保険料の 26 万円で、前年度に比べ 20 万円 (43.7%) 減少している。

収入未済額は、456 万円で、前年度に比べ 202 万円 (79.8%) 増加している。これは、後期高齢者医療保険料 202 万円の増加によるものである。

後期高齢者医療特別会計歳出においても、支出済額が前年度より増加している。

支出済額の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金 33 億 8,113 万円であり、これで支出総額の 98.5%を占めている。



## 4 財産

### (1) 公有財産

| 区 分            |      | 単位 | 令和2年度末現在      | 令和3年度中増減高 |            | 令和3年度末現在      |
|----------------|------|----|---------------|-----------|------------|---------------|
|                |      |    |               | 増         | 減          |               |
| 土 地            | 行政財産 | ㎡  | 4,522,818.16  | 33,335.70 | 11,317.24  | 4,544,836.62  |
|                | 普通財産 |    | 3,346,103.27  | 14,823.97 | 216,519.81 | 3,144,407.43  |
|                | 計    |    | 7,868,921.43  | 48,159.67 | 227,837.05 | 7,689,244.05  |
| 建 物            | 行政財産 | ㎡  | 796,807.47    | 13,750.98 | 5,273.96   | 805,284.49    |
|                | 普通財産 |    | 7,321.20      | 482.03    | 313.02     | 7,490.21      |
|                | 計    |    | 804,128.67    | 14,233.01 | 5,586.98   | 812,774.70    |
| 山 林            | 所有林  | ㎡  | 24,267,031.82 | 0.0       | 11,490.68  | 24,255,541.14 |
|                | 分収林  |    | 544,177.82    | 0.0       | 0.0        | 544,177.82    |
|                | 計    |    | 24,811,209.64 | 0.0       | 11,490.68  | 24,799,718.96 |
| 立 木<br>(推定蓄積量) | 所有林  | ㎥  | 1,063,291.00  | 12,190.00 | 0.0        | 1,075,481.00  |
|                | 分収林  |    | 16,733.00     | 280.00    | 0.0        | 17,013.00     |
|                | 計    |    | 1,080,024.00  | 12,470.00 | 0.0        | 1,092,494.00  |
| 物 権            | 温泉権  | ㎡  | 11.76         | 0.0       | 0.0        | 11.76         |
|                | 計    |    | 11.76         | 0.0       | 0.0        | 11.76         |
| 有 価 証 券        | 受益証券 | 千円 | 64            | 0.0       | 0.0        | 64            |
|                | 株 券  |    | 210,350       | 0.0       | 0.0        | 210,350       |
|                | 計    |    | 210,414       | 0.0       | 0.0        | 210,414       |
| 出 資 に よ る 権 利  |      | 千円 | 3,580,406     | 686       | 0.0        | 3,581,092     |

#### ①土地

行政財産の増減の主な要因は、次のとおりである。

- ・高木瀬ふれあい公園（取得） 18,692.36 ㎡
- ・東名遺跡・埋蔵文化財センター整備用地（取得） 7,983.19 ㎡
- ・三瀬支団第4分団第4部（重複） △2,815.17 ㎡
- ・上戸田団地（普通財産へ） △2,555.54 ㎡
- ・西寺井団地（普通財産へ） △2,215.89 ㎡

普通財産の増減の主な要因は、次のとおりである。

- ・佐賀駅南口事業用地（行政財産から） 3,662.02 ㎡
- ・上戸田団地跡地（地積更正・行政財産から） 2,555.56 ㎡
- ・西寺井団地跡地（行政財産から） 2,215.89 ㎡
- ・藻類産業拠点地整備事業用地（売却） △208,127.00 ㎡
- ・下田町（下田ポンプ場予定地）（売却等） △3,267.91 ㎡

## ②建物

行政財産の増減の主な要因は、次のとおりである。

|                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| ・本庁舎立体駐車場・駐輪場（新築・改築） | 7,839.52 m <sup>2</sup> |
| ・鍋島中学校（増築：過年度分）      | 1,204.98 m <sup>2</sup> |
| ・循誘公民館（新築）           | 794.73 m <sup>2</sup>   |
| ・勸興公民館（新築）           | 779.19 m <sup>2</sup>   |
| ・中川副公民館（解体）          | △654.89 m <sup>2</sup>  |
| ・西寺井団地（解体）           | △617.48 m <sup>2</sup>  |

普通財産の増減の主な要因は、次のとおりである。

|                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ・佐賀消防署中央出張所（返還）   | 298.94 m <sup>2</sup>  |
| ・旧T O J I N茶屋（解体） | △313.02 m <sup>2</sup> |

## ③山林

山林の減少要因は、公共事業用地として佐賀県に売却したもの 11,490.68 m<sup>2</sup>である。

## ④立木

立木の増加要因は、自然成長によるもの 12,470.00 m<sup>3</sup>である。

## ⑤物権

当年度において増減は生じていない。

## ⑥有価証券

当年度において増減は生じていない。

## ⑦出資による権利

出資の増加の主な要因は、佐賀東部水道企業団水道用水供給事業福岡導水施設地震対策事業出資金 68 万円である。

## (2) 物品 (重要備品)

(単位：台)

| 区 分            | 令和2年度末現在 | 令和3年度中増減高 |    | 令和3年度末現在 |
|----------------|----------|-----------|----|----------|
|                |          | 増         | 減  |          |
| 1 卓子椅子類        | 23       | 0         | 0  | 23       |
| 2 書庫、戸棚及び箱類    | 72       | 0         | 0  | 72       |
| 3 事務用器具類       | 64       | 1         | 1  | 64       |
| 4 製図測量及び標示用器具類 | 15       | 0         | 0  | 15       |
| 5 印刷製本用具類      | 25       | 0         | 1  | 24       |
| 6 印章類          | 0        | 0         | 0  | 0        |
| 7 写真及び映写用機械類   | 72       | 0         | 0  | 72       |
| 8 運動厚生用具類      | 43       | 3         | 0  | 46       |
| 9 楽器類          | 200      | 1         | 0  | 201      |
| 10 音響照明用器具     | 44       | 0         | 1  | 43       |
| 11 冷暖房用具類      | 53       | 0         | 0  | 53       |
| 12 被服及び寝具      | 0        | 0         | 0  | 0        |
| 13 ちゅう房用品類     | 383      | 5         | 1  | 387      |
| 14 衛生用具類       | 17       | 0         | 0  | 17       |
| 15 機械類         | 47       | 1         | 1  | 47       |
| 16 車両運搬用具類     | 495      | 15        | 10 | 500      |
| 17 工具類         | 0        | 0         | 0  | 0        |
| 18 農水産用具類      | 2        | 0         | 0  | 2        |
| 19 身体検査用器具     | 7        | 0         | 0  | 7        |
| 20 医療用具類       | 27       | 1         | 0  | 28       |
| 21 光学用具類       | 10       | 0         | 0  | 10       |
| 22 理化学及び通信用器具類 | 104      | 0         | 0  | 104      |
| 23 図書標本類       | 2        | 0         | 0  | 2        |
| 24 鑑定分析試験器具類   | 1        | 0         | 0  | 1        |
| 25 貴金属         | 0        | 0         | 0  | 0        |
| 26 文化財及び美術工芸品  | 82       | 0         | 0  | 82       |
| 27 消火器具類       | 187      | 8         | 5  | 190      |
| 28 その他         | 11       | 0         | 0  | 11       |
| 合 計            | 1,986    | 35        | 20 | 2,001    |

### (3) 債権

(単位：円)

| 区 分                               | 令和2年度末現在      | 令和3年度中増減高     |               | 令和3年度末現在      |
|-----------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|                                   |               | 増             | 減             |               |
| 一般会計                              | 1,905,285,567 | 1,541,422,464 | 1,592,613,668 | 1,854,094,363 |
| 土地建物貸付料                           | 246,541,142   | 31,761,893    | 54,604,827    | 223,698,208   |
| 令和2年度課税に係る市民税<br>(特別徴収令和3年4月～5月分) | 1,402,085,200 | 0             | 1,402,085,200 | 0             |
| 令和3年度課税に係る市民税<br>(特別徴収令和4年4月～5月分) | 0             | 1,391,831,100 | 0             | 1,391,831,100 |
| 敷金                                | 184,000       | 0             | 184,000       | 0             |
| 生活保護費返還金及び徴収金にかかる債権               | 142,675,359   | 86,367,540    | 87,840,750    | 141,202,149   |
| 道路占用料                             | 617,172       | 2,406,675     | 502,403       | 2,521,444     |
| 法定外公共物等占用料                        | 2,350,560     | 23,256        | 834,488       | 1,539,328     |
| 育英資金貸付金                           | 84,000        | 0             | 84,000        | 0             |
| 自動車運送事業会計超低床型バス導入資金貸付金            | 93,606,000    | 29,032,000    | 43,978,000    | 78,660,000    |
| 障害者自立支援給付費等返還金                    | 17,142,134    | 0             | 2,500,000     | 14,642,134    |
| 特別会計                              | 8,307,564     | 3,382,928     | 4,793,857     | 6,896,635     |
| 国民健康保険法に基づく返納金                    | 4,105,564     | 3,382,928     | 3,633,857     | 3,854,635     |
| 老人保健法に基づく第三者納付金                   | 4,202,000     | 0             | 1,160,000     | 3,042,000     |
| 合 計                               | 1,913,593,131 | 1,544,805,392 | 1,597,407,525 | 1,860,990,998 |

当年度末における債権の現在高は 18 億 6,099 万円で、前年度に比べ 5,260 万円減少した。この減少の主な要因は、土地建物貸付料が 2,284 万円、自動車運送事業会計超低床型バス導入資金貸付金 1,494 万円及び令和 2 年度市民税 1,025 万円が減少したためである。

(4) 基金

(単位：円)

| 区 分             | 令和2年度末<br>現在高 | 令和3年度中増減高     |             | 令和3年度末<br>現在高 | 管理状況                                                                              |
|-----------------|---------------|---------------|-------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
|                 |               | 増             | 減           |               |                                                                                   |
| 財政調整基金          | 6,379,758,751 | 1,612,231,588 | 0           | 7,991,990,339 | 大口定期 19,685,500,498<br>債券 3,391,372,000<br>普通預金 400,000,000                       |
| 公共用施設建設基金       | 1,210,104,644 | 1,260,175,413 | 0           | 2,470,280,057 |                                                                                   |
| 減債基金            | 6,022,670,874 | 100,465,038   | 76,388,000  | 6,046,747,912 |                                                                                   |
| ふるさとづくり基金       | 373,306,550   | 6,872,565     | 15,604,000  | 364,575,115   | ※一括運用として、上記の<br>管理状況となっている。<br><br>(土地開発基金分)<br>土地 720,439,726<br>貸付金 398,174,520 |
| 合併振興基金          | 2,896,000,000 | 6,964,101     | 678,964,101 | 2,224,000,000 |                                                                                   |
| 地域福祉基金          | 1,868,012,481 | 5,794,880     | 5,794,880   | 1,868,012,481 |                                                                                   |
| 廃棄物処理施設建設基金     | 531,984,224   | 459,674       | 0           | 532,443,898   |                                                                                   |
| 土地開発基金          | 3,095,728,568 | 1,708,374     | 0           | 3,097,436,942 |                                                                                   |
| ふるさと応援基金        | 834,310,020   | 728,986,673   | 739,717,000 | 823,579,693   | 大口定期 823,579,693                                                                  |
| 諸富地区ふるさと創生基金    | 29,534,037    | 6,497         | 1,719,000   | 27,821,534    | 大口定期 27,821,534                                                                   |
| 大和地区ふるさと創生基金    | 6,555         | 0             | 0           | 6,555         | 普通預金 6,555                                                                        |
| 富士地区ふるさと創生基金    | 57,663,801    | 15,569        | 269,233     | 57,410,137    | 大口定期 57,410,137                                                                   |
| 三瀬地区ふるさと創生基金    | 209,227,438   | 108,798       | 512,000     | 208,824,236   | 大口定期 208,824,236                                                                  |
| 東与賀地区ふるさと創生基金   | 56,734,094    | 12,481        | 5,701,760   | 51,044,815    | 大口定期 51,044,815                                                                   |
| 久保田地区ふるさと創生基金   | 15,259,861    | 3,357         | 0           | 15,263,218    | 大口定期 15,263,218                                                                   |
| 国民健康保険基金        | 150,036,821   | 168,371,689   | 113,219,000 | 205,189,510   | 大口定期 205,189,510                                                                  |
| 国民健康保険高額療養費貸付基金 | 30,026,952    | 400           | 0           | 30,027,352    | 大口定期 20,027,352<br>普通預金 10,000,000                                                |
| 国民健康保険三瀬診療所運営基金 | 3,019,292     | 664           | 0           | 3,019,956     | 定期預金 3,019,956                                                                    |
| 休日夜間こども診療所基金    | 111,064,204   | 12,603,119    | 21,615,140  | 102,052,183   | 大口定期 102,052,183                                                                  |
| 郭沫若記念碑管理基金      | 3,495,520     | 769           | 769         | 3,495,520     | 定期預金 3,495,520                                                                    |

(単位：円)

| 区 分               | 令和2年度末<br>現在高  | 令和3年度中増減高     |               | 令和3年度末<br>現在高  | 管理状況                                                                                                                                         |
|-------------------|----------------|---------------|---------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                   |                | 増             | 減             |                |                                                                                                                                              |
| 桜基金               | 1,027,264      | 20            | 0             | 1,027,284      | 定 期 預 金 1,027,284                                                                                                                            |
| 森林環境譲与税基金         | 58,322,309     | 52,055,605    | 40,699,568    | 69,678,346     | 大 口 定 期 69,678,346                                                                                                                           |
| やまびこの湯管理基金        | 16,837,669     | 3,704         | 0             | 16,841,373     | 大 口 定 期 16,841,373                                                                                                                           |
| 大和町松梅地区活性化施設等整備基金 | 18,366,065     | 4,040         | 0             | 18,370,105     | 大 口 定 期 18,370,105                                                                                                                           |
| 土井旗・土井杯争奪柔剣道大会基金  | 2,016,573      | 40            | 0             | 2,016,613      | 定 期 預 金 2,016,613                                                                                                                            |
| 有線テレビ基金           | 73,200,286     | 5,776,164     | 0             | 78,976,450     | 大 口 定 期 78,976,450                                                                                                                           |
| 合 計               | 24,047,714,853 | 3,962,621,222 | 1,700,204,451 | 26,310,131,624 | 大 口 定 期 21,380,579,450<br>定 期 預 金 9,559,373<br>普 通 預 金 410,006,555<br>貸 付 金 398,174,520<br>土 地 720,439,726<br>一 時 繰 替 0<br>債 券 3,391,372,000 |

当年度末における基金の現在高は 263 億 1,013 万円で、前年度に比べ 22 億 6,241 万円増加している。この増加の主な要因は、合併振興基金が 6 億 7,200 万円減少したが、財政調整基金が 16 億 1,223 万円及び公共用施設建設基金 12 億 6,017 万円が増加したためである。

## 5 むすび

令和3年度当初予算策定時の九州管内経済状況は、日銀の金融経済概況によると、「個人消費は、持ち直しの動きが一服している。公共投資は高水準で推移。設備投資は減少し、住宅投資は弱い動きとなっている。こうした中で、生産は持ち直している。」とされ、九州・沖縄の景気は厳しい状況にあるものの、持ち直しつつあるとの判断がなされている。

この様な状況の中、本市においては、健全な財政運営に配慮しつつ、限られた財源を最大限に活用し、「安全・安心」、「経済活性化」、「子育て・教育・スポーツ」を3本の柱として予算編成がなされた。

令和3年度佐賀市一般会計決算において、決算額は歳入歳出とも前年度と比べて大きく減少した。

まず、歳入においては、歳入決算額約1,187億円で前年度比約152億円（11.4%）の減少となった。その主な要因は、地方交付税が約21億円増加したが、国庫支出金約172億円が減少したためである。国庫支出金減少の要因は、特別定額給付金給付事業費補助金約232億円が減少したためである。また、国庫支出金等が減少したことにより、自主財源比率は36.9%（前年度比4.6ポイント増）に増加した。約311億円を占める主要な自主財源である市税の収納率は、現年課税分・滞納繰越分を合わせて98.91%（前年度比0.65ポイント増）となり、高い水準を保っている。

歳出においては、歳出決算額約1,148億円で前年度比約162億円（12.4%）の減少となった。その主な要因は、総務費が約194億円減少したためである。総務費が減少した主な要因は、国の経済対策として支給された特別定額給付金給付事業約233億円の減少によるものである。なお、予算現額に対する執行率は前年度より1.1ポイント下がり92.0%に、予算現額に対する不用額の割合は1.3ポイント上がり2.7%となった。

特別会計では、3会計の歳入決算額の総額は約303億円で、前年度比約3億円（1.1%）の増加となった。その主な要因は、国民健康保険の県支出金が約6億円増加し、国民健康保険税と繰入金がそれぞれ約2億円減少したためである。また、歳出決算額の総額は約299億円で、国民健康保険給付費の増加などにより前年度比約3億円（1.0%）の増加となった。

次に、財政指標をみると、財政基盤の強さを示す財政力指数は0.64で、ここ数年大きな変化はみられない。財政構造の弾力性を表す経常収支比率は、経常一般財源などの増加もあり89.2%と前年度比4.9ポイント低下している。

また、令和3年度を通して、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた経済に持ち直しの動きが見られ、国税収入の増額に伴い、地方交付税の追加配分があったため、実質収支額は前年度比約16億円増加し、約31億円であった。基金残高も前年度比約23億円増加しており、資金収支の短期的な健全性は保たれていると言える。

こうした中、地方を取り巻く環境は、急速に進む人口減少と少子高齢化、さらに頻発化、激甚化する大規模自然災害など大きな変化に直面している。本市においても経済社会環境の変化の影響で、人口減少により税収が減少していくことや、高齢化の進展で社会保障費の増大、公共施設費の確保など財政面の負担は大きくなっていくことが予想される。また、長引く新型コロナウイルス感染症による経済へのダメージやウクライナ侵攻による物価高

や景気への打撃など様々な影響が続き、経済社会への不透明感が強まっている状況である。

このように財政を取り巻く環境は厳しさを増しており、今まで以上に、収入と支出のバランスをみて、健全な財政運営に配慮しなければならない。限られた財源が佐賀市民がより暮らしやすく、そして豊かなまちであると実感できるように有効に活用されることを望むものである。



(地方自治法第 241 条第 5 項の規定により審査に付された基金)

**土 地 開 発 基 金**

**高額療養費貸付基金**



## 令和3年度佐賀市土地開発基金運用状況審査意見

### 第1 審査の結果

令和3年度の土地開発基金運用状況の審査に当たっては、基金が設置目的に沿って適正に運用されたか、計数は正確であるかなどについて、関係諸帳簿を照合して審査を実施した。

その結果、この基金は設置目的に沿って運用されており、また、計数に誤りはなく、現金の当年度末残高19億7,882万円は、指定金融機関等の預金在高と符合し正確であることを確認した。

当年度中の現金については、預金利子等により170万円増加している。

土地の増減はなく、取得価格7億2,043万円の土地を保有している。

貸付金についても増減はなく、佐賀市土地開発公社のみへの貸付となっている。

今後も売却等を含め、利活用に向けた努力を継続されるとともに、基金の管理及び運用に当たっては、基金設置の趣旨に沿った計画的な活用と効率的な運用を望むものである。

### 第2 運用の状況

現金については、一括運用として、大口定期預金、債券、普通預金等により運用している。基金の当年度末現在高は30億9,743万円で、前年度に比べ170万円増加している。これは、現金の預金利子等によるものである。

＜土地開発基金運用状況＞

(単位：円)

| 区 分   | 令和2年度末現在      | 令和3年度中増減高 |   | 令和3年度末現在      |
|-------|---------------|-----------|---|---------------|
|       |               | 増         | 減 |               |
| 現 金   | 1,977,114,322 | 1,708,374 | 0 | 1,978,822,696 |
| 土 地   | 720,439,726   | 0         | 0 | 720,439,726   |
| 貸 付 金 | 398,174,520   | 0         | 0 | 398,174,520   |
| 合 計   | 3,095,728,568 | 1,708,374 | 0 | 3,097,436,942 |

## 令和3年度佐賀市国民健康保険高額療養費貸付基金運用状況審査意見

### 第1 審査の結果

令和3年度の国民健康保険高額療養費貸付基金運用状況の審査に当たっては、基金が設置目的に沿って適正に運用されたか、計数は正確であるかなどについて、関係諸帳簿を照合して審査を実施した。

現金の当年度末残高 3,002 万円は、指定金融機関の預金在高と符合し正確であることを確認した。

本基金の貸付は、前年度に引き続き行われておらず、平成20年度以降、実績はない。これは、平成19年4月から限度額適用認定証の導入により、入院療養について、本認定証を医療機関に提示することで医療費の支払が自己負担限度額までで済むようになったことや、平成24年4月からは、この制度が外来診療でも利用できるようになったため、貸付を必要とする状況が生まれにくくなったことがその要因と推測される。

長期間利用のない基金については、減額や廃止を含めた検討をお願いしたい。

### 第2 運用の状況

基金に属する現金の収支状況は、当年度も貸付、回収の実績はないが、大口定期預金と普通預金での運用により預金利子が400円増加している。当年度末現在における収支差引残高は3,002万円となっている。

＜国民健康保険高額療養費貸付基金運用状況＞

(単位：円)

| 区 分 | 令和2年度末現在   | 令和3年度中増減高 |   | 令和3年度末現在   |
|-----|------------|-----------|---|------------|
|     |            | 増         | 減 |            |
| 現 金 | 30,026,952 | 400       | 0 | 30,027,352 |

## 参 考 資 料

(注)

参考資料における指数は、総務省が行う地方財政状況調査の市町村別決算状況調（決算統計）を基礎として用いている。

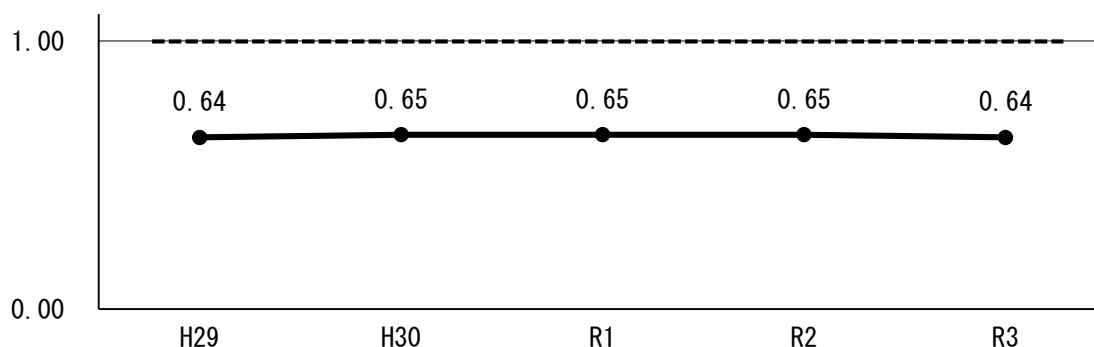
数値は令和４年７月２０日現在のものである。

## 1 財政力指数

財政力指数とは、財政力を判断する指数で、地方交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3か年度間の平均値である。

なお、この指数は「1」に近いほど財政力が強いと見ることができ、したがって、「1」を超える団体は、普通交付税の不交付団体であって、超えた分だけ余裕財源を保有しているものとされている。

財政力指数の推移



【計算式】

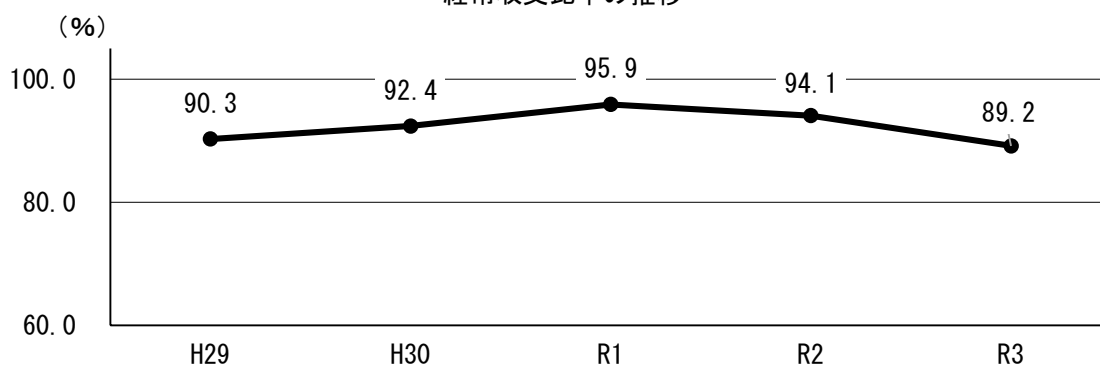
財政力指数＝基準財政収入額÷基準財政需要額

## 2 経常収支比率

経常収支比率とは、人件費、扶助費、公債費等の義務的性質の経費に市税、地方交付税、地方譲与税等を中心とする経常的に収入される一般財源がどの程度充当されているかをみることにより、当該団体の財政構造の弾力性を判断するための指数である。

この比率が高いほど、一般財源の残余（経常余剰財源）割合が少なく、臨時の財政需要に対し余裕がないことを意味し、財政状況が硬直化していることになる。

経常収支比率の推移

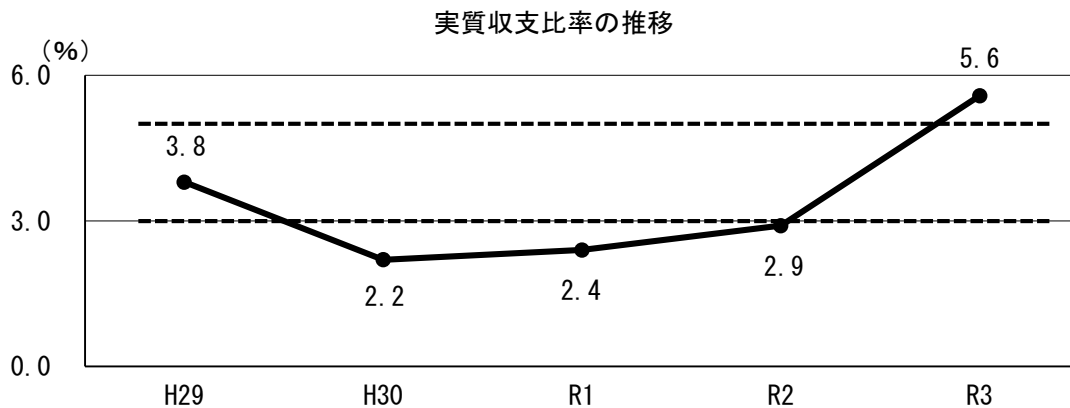


【計算式】

経常収支比率＝経常経費充当一般財源÷(経常一般財源＋減収補填債特例分＋臨時財政対策債)×100

### 3 実質収支比率

実質収支比率とは、標準財政規模に対する実質収支額の割合を示し、この比率が高いほど財政に余裕があることを意味する。しかしながら、実質収支の剰余が多ければ多いほど財政運営が良好であるとは一概にいえず、翌年度以降の財源調整の範囲内（おおむね標準財政規模の3%～5%程度）が適度の剰余とされ、それ以上の収入増は、行政水準の向上及び住民負担の軽減に充てられるべきであると考えられている。



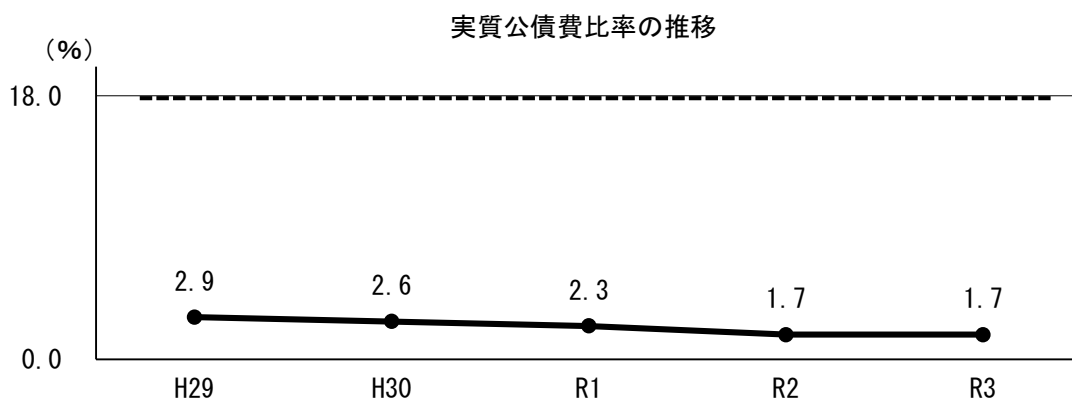
【計算式】

$$\text{実質収支比率} = \text{実質収支額} \div \text{標準財政規模} \times 100$$

### 4 実質公債費比率

実質公債費比率とは、標準的な財政規模に対する公債費や公営企業債に対する繰出金等の公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額の占める割合の過去3か年度間の平均値である。なお、公債費に充てられる特定財源や、地方交付税により措置のある財源等を除いて計算される。

この比率が18%以上になると地方債の発行に際し許可が必要となる。さらに、25%以上になると地域活性化事業等の単独事業に係る地方債が制限され、35%以上の団体は、これらに加えて一部の一般公共事業債についても制限されることになる。



【計算式】

$$\text{実質公債費比率} = \{(A+B) - (C+D)\} \div (E-D) \times 100$$

A: 地方債の元利償還金(公営企業分、繰上償還等を除く)

B: 地方債の元利償還金に準ずるもの(「準元利償還金」)

C: 元利償還金または準元利償還金に充てられる特定財源

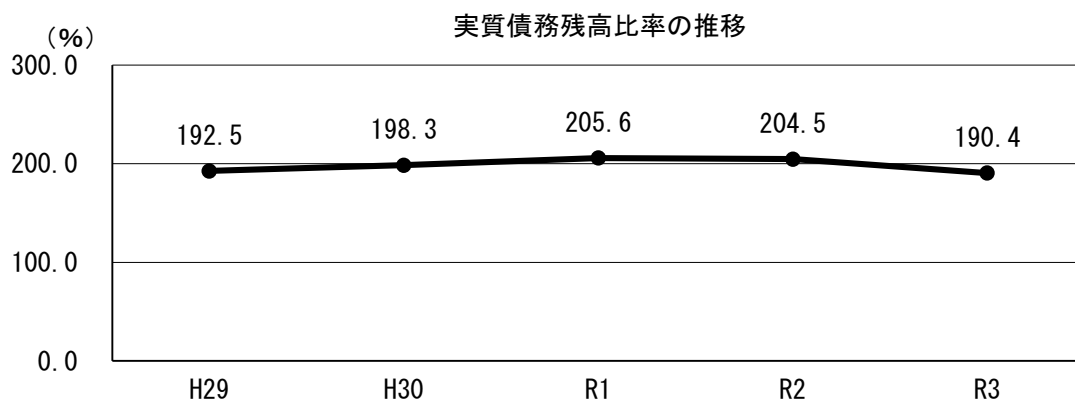
D: 地方債に係る元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額

E: 標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)

## 5 実質債務残高比率

実質債務残高比率とは、将来にわたり財政負担となる地方債と債務負担行為が、標準的な財政規模に対し、どの程度になっているかを示す指数である。

この比率の適正範囲については、明確な基準はないが、将来、財政の硬直化をもたらす実質的な債務残高(借金)が多額にならないようあらかじめ注意するための指標である。



【計算式】

$$\text{実質債務残高比率} = (\text{地方債現在高} + \text{債務負担行為額}) \div \text{標準財政規模} \times 100$$

## 6 人口規模が同規模の都市との比較

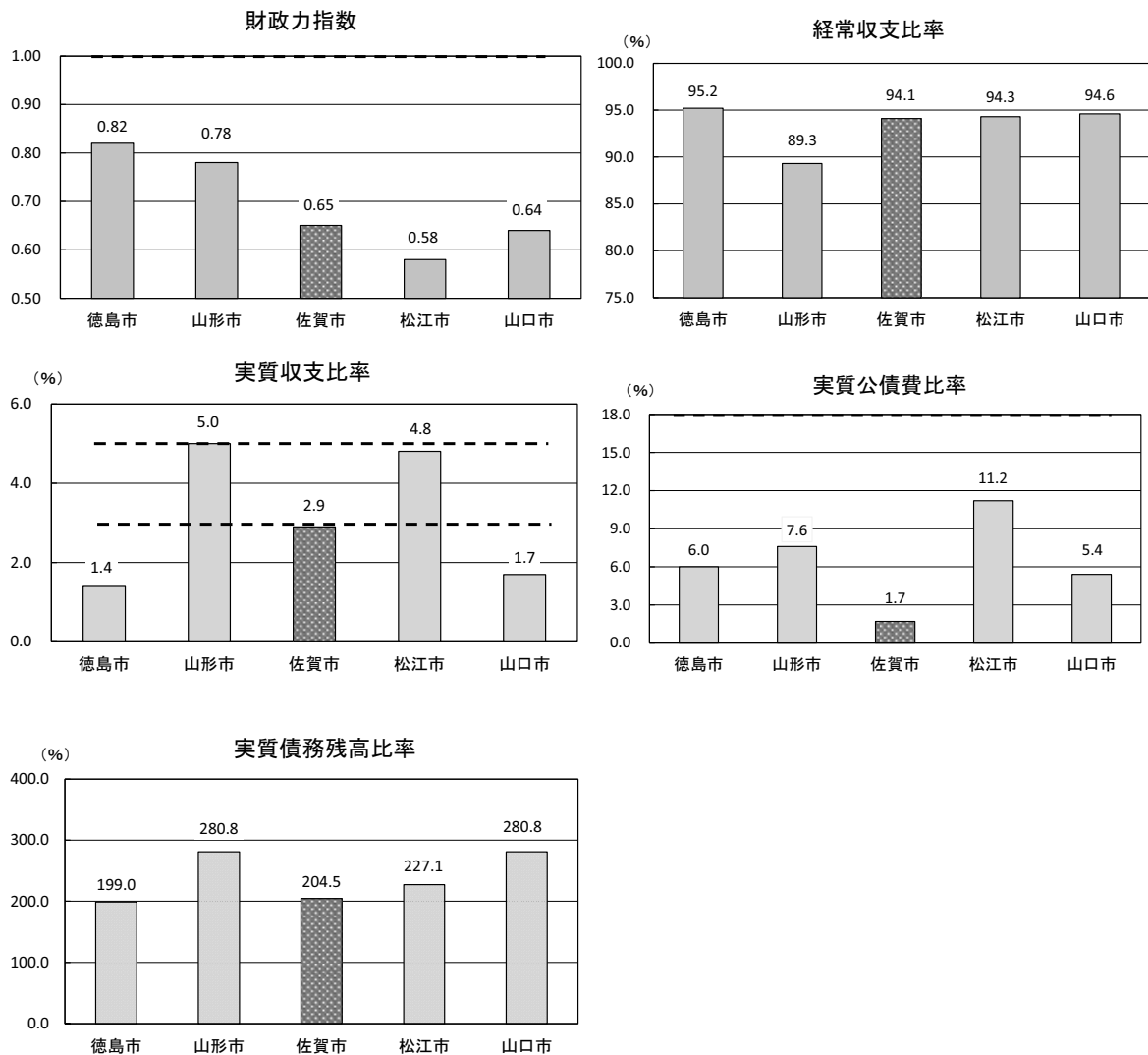
下記の表は、佐賀市と人口規模が同規模の県庁所在都市との財政指標を比較した表である。

＜令和2年度決算状況＞

(単位：人、千円、％)

|          | 徳島市         | 山形市         | 佐賀市                | 松江市         | 山口市         |
|----------|-------------|-------------|--------------------|-------------|-------------|
| 人口       | 252,093     | 243,684     | <b>231,648</b>     | 200,772     | 190,663     |
| 一般会計歳入総額 | 130,283,914 | 131,820,263 | <b>133,968,400</b> | 128,200,601 | 112,234,502 |
| 一般会計歳出総額 | 129,013,470 | 128,038,200 | <b>130,950,436</b> | 125,163,699 | 110,918,714 |
| 財政力指数    | 0.82        | 0.78        | <b>0.65</b>        | 0.58        | 0.64        |
| 経常収支比率   | 95.2        | 89.3        | <b>94.1</b>        | 94.3        | 94.6        |
| 実質収支比率   | 1.4         | 5.0         | <b>2.9</b>         | 4.8         | 1.7         |
| 実質公債費比率  | 6.0         | 7.6         | <b>1.7</b>         | 11.2        | 5.4         |
| 実質債務残高比率 | 199.0       | 280.8       | <b>204.5</b>       | 227.1       | 280.8       |

※ 人口は、令和3年1月1日現在





リサイクル適正<sup>®</sup>(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。